

議 長	事務局長	次 長	係 長	係
				

様式第1号 (第7条第1項関係)

政務活動費に係る収入及び支出の報告書

令和6年4月11日

常陸太田市議会議長 藤田謙二 殿

会 派 名 太政クラブ

経理責任者名 藤田 謙二

令和5年度政務活動費に係る収入及び支出の報告について

常陸太田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、下記のとおり令和5年度政務活動費に係る収入及び支出の報告書を支出証拠書類を添え提出します。

記

1 収 入 政務活動費 360,001 円
(内預金利子 1 円)

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	141,480 円	
研 修 費	32,800 円	
広 報 費	0 円	
広 聴 費	0 円	
要請・陳情活動費	0 円	
会 議 費	0 円	
資 料 作 成 費	0 円	
資 料 購 入 費	0 円	
人 件 費	0 円	
事 務 所 費	0 円	

3 残 額 185,721 円

4 添付書類

(注) 1 備考欄に、主たる支出の内訳を記載すること。

2 支出証拠書類は、適当な用紙に原本を貼付し、科目ごとにまとめて提出すること。



政 務 活 動 費 収 支 差 引 簿

令和 5 年度

常陸太田市議会

会 派 名 太政クラブ

経理責任者名 藤田 謙二

[illegible]

(調査研究費)

[illegible]

(研修費)

[illegible]

《調査研究費》

領収書

2025年8月7日

No.

茨城県常陸太田市和田町1600-1

玉喜屋本店

代表 岩間孝洋

TEL(FAX) 0294-85-0106

太政クラブ様

下記のとおり領収申し上げます

登録番号 T5-8103-2460-6170

税込合計金額

¥14,520-

消費税額等

1,138-

月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	税率(%)	摘要
7/30	うまい米	8	1350	10800	8	-
7/30	緊急便代(福井)	1	840	840	10	-
7/30	" (滋賀)	3	960	2880	10	-
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

合計(税抜・税込)

税率

8%

10800

消費税額等

800-

税率

10%

3720

消費税額等

338-

コクヨ ウ-320

領収書

和・洋菓子・食料品・酒類

玉喜屋本店

常陸太田市和田町1600-1

TEL(FAX)0294-85-0106

登録番号 T5-8103-2460-6170

2024年2月13日(火)No0

和洋菓子

2個 x 単1,350

¥2,700軽

8%対象

¥2,700

8%税

¥200

合 計

¥2,700

(うち消費税等

¥200)

お預り

¥10,000

お釣り

¥7,300

生物ですのでお早にお召し上がり
下さい。

1責

0100

0000-0100

2024年 2月13日火曜日

領収証

太政クラブ様

¥2,700-

(消費税等 ¥200)

但し、和菓子代として

玉喜屋本店

常陸太田市和田町1600-1

TEL. FAX 0294-85-0106

登録番号 T5-8103-2460-6170

*保管上のお願

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者

領収証No 3202

《研修費》

請 求 書

令和 5年 8月 3日

常陸太田市議会 太政クラブ 様

526-0059 長浜市元浜町 6 番 1 2 号
特定非営利活動法人 まちづくり役場
理事長 山崎 弘子

下記の通り、御請求申し上げます

御請求金額

¥15,650—

<内訳>

講師料	1 式 (消費税込)	¥11,000
資料代	550 円×3 人 (消費税込)	¥1,650
会場代	文泉堂	¥3,000

お取引明細票

いつも筑波銀行をご利用いただきましてありがとうございます。

年 月 日	取扱店番号	機械・処理番号	銀行番号	店舗番号	口 座 番 号	印 鑑 欄 告 白 納 付 につ き 土 浦 税 務 署 承 認 済
050814	113	15 0009			現金扱	
お取引内容	ご振込額 (振込額)	お 取 引 金 額	お 取 引 後 残 高		お取引時刻	
お振込		¥16,200	おつり ¥3,800		08:56	
振込日	05-08-14					
振込金額	¥15,650*		振込手数料	¥550*		
お受取人	長浜信用金庫 本店営業部					
普通	576412 トクメマツウワリヤクハ 様					
ご依頼人	ヒラチオオタシキ カイタイセイクラブ 様					
受付番号	0814003					

—このご利用明細は必ずお持ち帰りください—



キャッシュカード一体型のインターナショナルクレジットカード
〈つくば〉バンクカード



筑波銀行

領 収 証

常任大田市議会
大政クラブ

様 No. 0001803

★

¥ 22,000 -

但し 視察負担金として

令和6年2月15日 上記正に領収いたしました

登録番号: T1050001041541

8%

10% 本体 ¥ 20,000 消費税 ¥ 2,000

収 入
印 紙

内訳	
現金	
小切手	

消費税額等

株式会社 さかいまちづくり公社

〒306-0433 茨城県猿島郡 芳賀町 34-10-1

TEL 0280-87-5011 / FAX 0280-87-5015

道の駅 さかい河岸レスト

SAKAI TEPPAN & WOLF BBQ RESTAURANT

さしま茶サロン・さかい河岸バーガー

振替印



議 長	事務局長	次 長	係 長	係
				

別紙 1

令和5年8月1 日

常陸太田市議会議長
藤 田 謙 二 様

会 派 名 太政クラブ
代表者名 後 藤 守

政 務 活 動 実 施 届

このことについて、下記日程により調査研究活動のため視察を実施しますのでお届けします。

記

調査研究費／研修費		
視察月日	令和5年8月2日（水） ～ 令和5年8月4日（金）	
視察地及び 調 査 事 項	月 日	8月2日（水） 午後1時30分～午後3時30分
	相 手 方	福井県敦賀市議会
	調 査 事 項 1	赤レンガ倉庫について
	月 日	8月3日（木） 午前10時40分～午後3時30分
	相 手 方	特定非営利活動法人長浜まちづくり役場・えきまち長浜側
	調 査 事 項 1	黒壁スクエアを中心とした市域活性化への取組みについて
	調 査 事 項 2	長浜まちづくり役場と行政の連携について
	月 日	8月4日（金） 午前9時30分～午前11時30分
	相 手 方	滋賀県近江八幡市議会
	調 査 事 項 1	VR安土城事業について

宿泊連絡先	2 日（水）	敦賀マンテンホテル駅前（敦賀市国広町401-4） TEL 0770-25-0100		
	3 日（木）	ABホテル近江八幡（近江八幡市鷹飼町1498） TEL 0748-29-3966		
視察者氏名 （◎ 責任者）	◎ 高星 勝幸	藤田 謙二		



交通費・旅費・宿泊費明細

交通費・旅費・宿泊費明細									
月 日	出発地	経由地	到着地	鉄道賃，船賃，航空賃，車賃				宿泊料	計
				区分	路程 (k m)	運賃	特急・急行		
8月2日	常陸太田駅		敦賀駅	鉄道	632.5	19,580円	14,220円	24,000円	
8月2日	敦賀駅		市役所前	バス	2.6	400円			
8月2日	市役所前		敦賀駅	バス	2.6	400円			
8月3日	敦賀駅		長浜駅	鉄道	38.2	1,360円		24,000円	
8月3日	長浜駅		市役所前	バス	1.2	360円			
8月3日	市役所前		長浜駅	バス	1.2	360円			
8月3日	長浜駅		近江八幡駅	鉄道	36.1	1,360円			
8月4日	近江八幡駅北口		市役所（近江八幡市）	バス	5.6	400円			
8月4日	市役所（近江八幡市）		近江八幡駅北口	バス	5.6	400円			
8月4日	近江八幡駅		常陸太田駅	鉄道	615	19,580円	13,860円		
合計						44,200円	28,080円	48,000円	円
一人当費用	交通費	36,140円					1人当り 60,140円		
	宿泊料	12,000円 × 2泊 = 24,000円					合計 2人 120,280円		
上記以外の支出	経費内訳	経費内訳明細				経費内訳	経費内訳明細		
	土産費	9,680円				¥14,520の2/3	4箇所		
	視察料金	8,800円				¥13,200の2/3	講師料11,000・資料代1,650 振込手数料550		
	会場使用料	2,000円				¥3,000の2/3			
備考	無会派1名参加による延べ3人での視察のため、太政クラブ負担経費2/3で計上								

※ 区分欄記入→利用交通機関 (鉄道, 船, 航空機, バス・タクシー・レンタカー・自家用車)

※ 航空機・タクシー・レンタカー使用時は領収書添付

2. 日 程 (別紙日程表のとおり)

請求書

令和 5年 8月 3日

常陸太田市議会 太政クラブ 様

526-0059 長浜市元浜町6番12号
特定非営利活動法人 まちづくり役場
理事長 山崎 弘子

下記の通り、御請求申し上げます

御請求金額

¥15,650—

<内訳>

講師料	1式 (消費税込)	¥11,000
資料代	550円×3人 (消費税込)	¥1,650
会場代	文泉堂	¥3,000

お取引明細票

いつも筑波銀行をご利用いただきましてありがとうございます。

年 月 日	取引店番号	機械・処理番号	銀行番号	店舗番号	口座番号	現金扱	印鑑 付につき土浦 税務署承認済
050814	113	15 0009					
お取引内容	お取引金額	お取引後残高		お取引時刻			
お振込	¥16,200	おつり ¥3,800		08:56			
振込日	05-08-14						
振込金額	¥15,650*	振込手数料		¥550*			
お受取人	長浜信用金庫 本店営業部						
普通	576412 トクエマツタツクリヤク 様						
ご依頼人	上野林信子 カイタイイワズ 様						
受付番号	0814003						

このご利用明細は必ずお持ち帰りください。



キャッシュカード一体型のインターナショナルクレジットカード
〈つくば〉バンクカード

筑波銀行

太政クラブ(2名)と深谷渉議員で割り、2名分を太政クラブへ、
残りの1名分を深谷渉議員へ計上　＜振込手数料含む＞

※太政クラブ (16, 200円÷3人×2人=10, 800円)

※深谷渉議員(16, 200円÷3人×1人=5, 400円)

太政クラブ(2名)と深谷渉議員で割り、2名分を太政クラブへ
残りの1名分を深谷渉議員へ計上 <送料含む>

※太政クラブ (14, 520円÷3人×2人=9, 680円)

※深谷渉議員(14, 520円÷3人×1人=4, 840円)

議 長	事務局長	次 長	係 長	係
				

令和 5 年 9 月 1 日

常陸太田市議会議長

藤 田 謙 二 様

会 派 名 太 政 ク ラ ブ
代表者名 後 藤 守

政 務 活 動 費 視 察 等 報 告 書

下記のとおり、調査研究活動のため視察を実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 視 察 先 (1) 福井県敦賀市議会
赤レンガ倉庫について
(2) 特定非営利活動法人長浜まちづくり役場・えきまち長浜株式会社
黒壁スクエアを中心とした市域活性化への取組みについて
長浜まちづくり役場と行政の連携について
(3) 滋賀県近江八幡市議会
VR安土城事業について
2. 期 日 令和 5 年 8 月 2 日 (水) ～令和 5 年 8 月 4 日 (金)
3. 参加者氏名 高星勝幸・藤田謙二
4. 視察項目等 別紙のとおり



政 務 活 動 視 察 等 報 告 書

令和5年9月1日

常陸太田市議会

議長 藤 田 謙 二 殿

常陸太田市議会 太政クラブ 代表 後藤 守 

【 研修視察地 】 ① 福井県敦賀市議会

(赤レンガ倉庫を拠点とした地域活性化の取り組みについて)

② 滋賀県長浜市・NPO 法人長浜まちづくり会社

(黒壁スクエアを中心とした市街地活性化について)

③ 〃 ・えきまち長浜側

(長浜駅東地区市街地開発事業について)

④ 滋賀県近江八幡市議会 (VR 安土城事業について)

【 日 時 】	①	令和5年8月2日(水)	午後 2時00分～午後 4時00分
	②	令和5年8月3日(木)	午前10時40分～午後 0時10分
	③	〃	午後 1時30分～午後 3時30分
	④	令和5年8月4日(金)	午前 9時30分～午前11時30分

【 参 加 者 】 高星 勝幸 藤田 謙二

【 視 察 内 容 】

◎福井県敦賀市

1 市勢の概要

(1) 位置

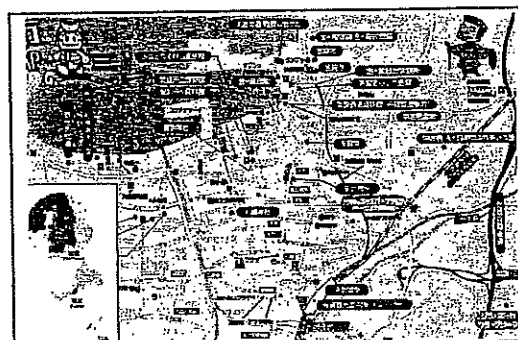
本州の日本海側沿岸で福井県のほぼ中央

(2) 地勢

地域の三方を山々が日本海を臨む平野部を
取り囲むように連なる隔絶性の高い地勢

(3) 人口と世帯

63,065 人／29,108 世帯 (R5.6 月末)

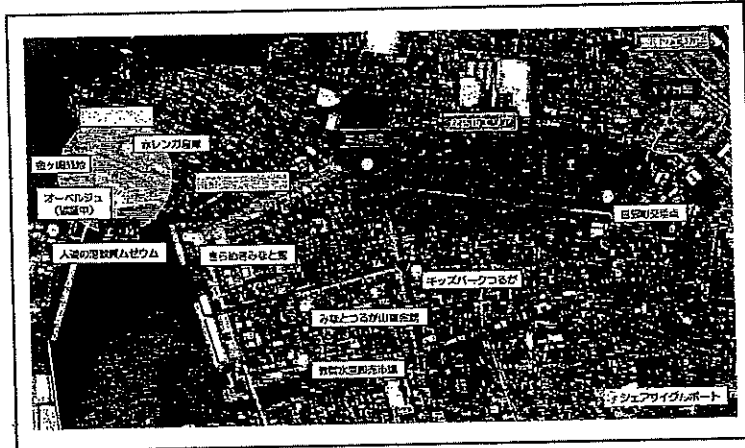


2 敦賀市の「まちづくり」

賑わいを楽しみながら回遊を目指す

JR 敦賀駅から商店街・気比神宮を経由し金ヶ崎へ誘客

- ① 駅周辺エリア ⇒ JR 敦賀駅西地区整備（ホテル、飲食店、公園、広場）による誘客
- ② 商店街エリア ⇒ 国道 8 号道路空間でのイベント、民間団体による取組による誘客
- ③ 金ヶ崎エリア ⇒ 人道の港敦賀ムゼウム、赤レンガ倉庫、オーベルジュによる誘客



3 敦賀赤レンガ倉庫構想からオープンまでに至るまでの経過

(1) ① 敦賀市観光振興計画の策定 (H8)

レトロ建築物の活用

赤レンガ倉庫のビアレストラン等での活用、倉庫群周辺の修景環境整備等が定められる

② 赤レンガの寄贈 (H15)

日本原子力発電株式会社より赤レンガ倉庫の寄贈を受ける

③ 耐震診断 (H17)

新潟県中越地震の影響を受け耐震診断の結果、震度 5 弱で倒壊の恐れあり

⇒ 以降、イベント等すべての利用を禁止

④ 赤レンガ倉庫の未整備期間 (H17～H23)

整備計画案が立案されるが財政的な問題等により実現に至らず (H19)

⇒ 整備事業費約 6 億円をねん出できず

⑤ 金ヶ崎周辺整備構想の策定 (H22～H24)

赤レンガ倉庫への飲食機能及びミュージアム機能の導入とともに隣接用地にて交流広場とすることを定める

⑥ 赤レンガ倉庫事業着手 (H25)

地方都市リノベーション事業を活用し、赤レンガ倉庫の整備に着手

⇒ 赤レンガ倉庫整備事業の策定

⑦ 耐震補強工事等着工 (H26)

⑧ リニューアルオープン (H27.10.7)

4 金ヶ崎周辺整備構想の策定スケジュール (H23.3～H24.5)

第1段階

ワークショップの開催 (H23.3.23～5.25)

- ・金ヶ崎周辺整備構想の策定に向け、市民意向を反映させるためワークショップを全3回開催
- ・市民公募による勉強会
- ・この成果を取りまとめ、敦賀市長あて提言書の提出

※ この提言書に、赤レンガ倉庫ではレストランとして整備することが盛り込まれている

第2段階

金ヶ崎周辺整備構想策定委員会の設置 (H23.8～H24.5)

- ・全5回の委員会を開催
- ・10年以上の中、長期構想を策定
- ・本整備構想の先導プロジェクトとして赤レンガ倉庫整備事業が記載され、その活用方法に、鉄道ジオラマやレストラン機能の導入も記載される
- ・構想策定業務委託として「UR 都市機構」に編集作業、アドバイス業務等を委託
- ・委員会から市長あて、整備構想提言書の提出

第3段階

金ヶ崎周辺整備構想の策定 (H24.5.21)

- ・策定委員会からの提言を受け、提言書のとおり、敦賀市の整備構想として位置づけ、構想の実現に向けて各種事業に取り組むことに

5 赤レンガ倉庫整備計画の策定 (H24.7～H25.3)

(1) 整備計画策定に向けた課題

① 整備事業費

⇒ 多額の事業費によって一度整備を断念した経緯から、財源に目途がついた段階で整備を行う必要がある

② 具体的な利活用計画の策定

⇒ 金ヶ崎周辺整備構想で定める「鉄道ジオラマ」と「レストラン」というキーワードをより具体的に示す必要

③ 耐震補強工法の選定

⇒ 数ある工法の中で、敦賀のレンガ倉庫に最適な工法の選定ができない

(2) 課題に対する対応

① 整備事業費について

- ・ 福井県の補助制度事業創設

平成25年度に計画策定し、平成26年度から整備に着手する事業であり、社会資本整備総合交付金を受ける事業の中から福井県が採択した事業に対する補助制度ができた

⇒ 舞鶴若狭自動車道の開通に向けた新たな観光拠点の創出事業に対する補助金

- ・ 本年度の活用により、国40%、県40%、市20%の財源内訳となり財源に一定の目途が立った

- ・ 尚、同年に国の新補助制度創設（リノベーション事業）により、国庫補助50%となったため、一般財源の負担は10%となった

⇒ 以上のことから、整備着手することに

【財源内訳】

国費	県費	地方債	一般財源
50%	40%	9%	1%

② 利活用計画の策定⇨赤レンガ倉庫整備計画の策定のための調査業務

○ 委託業務等

業 務	内 容	発注先
基本設計	利活用・耐震補強工法を含む基本設計	福井県設計監理協会（随意契約）
利活用計画策定	整備方針・収支計画	丹青社（指名競争入札）

③ 耐震補強工法の選定

○ 市独自による耐震補強工法の調査

- ・ これにより 3 つの工法があることが判明したが、判断が付かないため、県内の耐震補強に詳しい大学教授等に助言をもらうワーキンググループを設置

○ 3 つの工法（ワーキングの見解含む）

工 法	概要（モデル）	利点・欠点等
鉄骨工法	倉庫内部に鉄骨による新たな構造物を作る レンガ壁を樹脂やネットで一枚の壁にする これらを一体化させて耐震性の向上を図る	コスト 高 耐震性 高 空間 狭
ピン打ち工法	レンガ壁にピンを打ち付け一枚の壁にして 強度を高め、既存の基礎に支持させて倒壊 を防ぐ（舞鶴赤レンガはこれと鉄骨を組み 合わせている）	コスト 中 耐震性 中 空間 広 敦賀には向かない
特別なエポキシ樹脂	レンガ壁のモルタル部分に特殊なエポキシ 樹脂を注入して元の状態に戻す（横浜赤レ ンガ）	コスト 低 耐震性 ? 空間 広

※ ワーキングの結論として、敦賀の赤レンガ倉庫には鉄骨工法が最も適しているとされた

○ ワーキングメンバー

福井大学大学院 小林 克己 教授	赤レンガ倉庫活用検討委員会(H19)委員長 赤レンガ基本構想策定委員会(H20)委員長
福井大学大学院 高嶋 猛 講師	赤レンガ倉庫活用検討委員会(H19)副委員長 赤レンガ基本構想策定委員会(H20)副委員長
三重大学 花里 利一 教授	文化庁が主催する重要文化財の耐震対策のあり 方に関する協力者会議委員

6 まちづくり（ソフト事業）施策 金ヶ崎エリア

① 金ヶ崎緑地の賑わい創出

- ・集客の拠点として、民間主導の各種イベントの開催支援
⇒ 無料休憩所を中心に、みなと縁日を開催

② 人道の港 敦賀ムゼウム

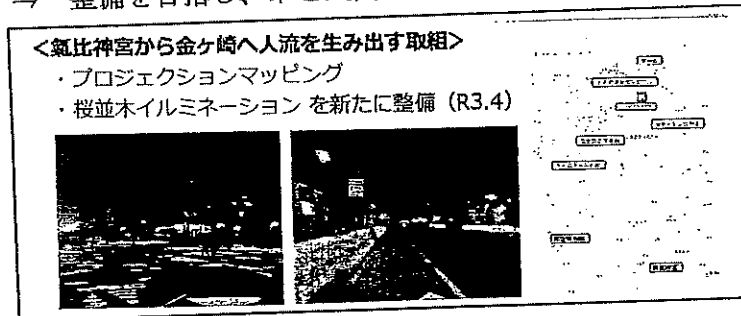
- ・令和2年11月移転・拡充オープン
⇒ 金ヶ崎の新しい誘客施設として「人道の港」をPR

③ 敦賀赤レンガ倉庫

- ・平成27年10月オープン
⇒ ジオラマ館、レストラン館、オープンガーデンで構成

④ オーベルジュ

- ・整備検討中
⇒ 整備を目指し、市と民間企業2社とで協定締結(R4.3)



7 金ヶ崎周辺整備構想 敦賀港（金ヶ崎緑地）周辺のまちづくり

○ 敦賀市中心市街地活性化基本計画

(H21～H26 大臣認定)に基づくまちづくり
赤レンガ倉庫の金ヶ崎周辺エリアを集客拠点
と位置づけ整備

《整備構想の概要》

- ・コンセプト：敦賀ノスタルジアム
(ノスタルジー【郷愁】＋ミュージアム【博物館】)
- ・整備方針：官民協同によるハード・ソフト両面から一体的な整備を図る
【第1段階】できることから着手 【第2段階】憩いの緑地帯へ整備
【第3（最終）段階】民主導の施設整備により敦賀ノスタルジアムワーフの実現

※ワーフ：波止場

- ・先導プロジェクト：構想の実現に向け「赤レンガ倉庫の整備」・「ランプ小屋の整備」等を設定

8 敦賀赤レンガ倉庫リニューアル

○ 赤レンガ倉庫

※国の登録文化財であるため、外観は当時そのまま保存



◇ 建築概要

- ・ 建築年 : 明治 38 年 ⇒ 110 周年記念 平成 27 年リニューアル
- ・ 敷地面積 : 2685.18 m²
- ・ 床面積 : 1074.38 m² (2 棟分) ⇒ 1211.31 m²
- ・ 構造 : 煉瓦造 (イギリス積) ⇒ 鉄骨造 2 階建て、瓦葺復元
平屋建て、木造小屋組瓦葺
- ・ 財 源 : 社会資本整備総合交付金 (地方リノベーション事業)
- ・ 総事業費 : 11 億円 (うち国庫 5.4 億円)
- ・ 工事概要 : 耐震補強工事、ジオラマ館内装工事、オープンガーデン整備工事 他

◇ 施設概要

【レストラン館】 市民の要望が最も多かったレストラン機能を整備
3 店舗のテナントが入居

○ 赤レンガ café 《カフェ・ショップ》

- ・ 特性タルトやプリンなどのスイーツをはじめ
カフェメニューを提供
- ・ 福井県内のお土産も購入可能

○ 生け簀の甲羅《海鮮 Dining》

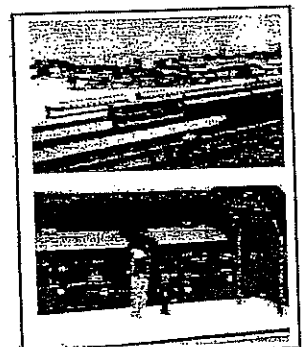
- ・ 店内の生け簀から上げた新鮮な旬の魚介類をその場
で捌いて提供するエンターテイメントダイニング
- ・ 敦賀湾で獲れた新鮮な魚介が楽しめる

○ Sogno-Poli (ソニョーポリ) 《イタリアン》

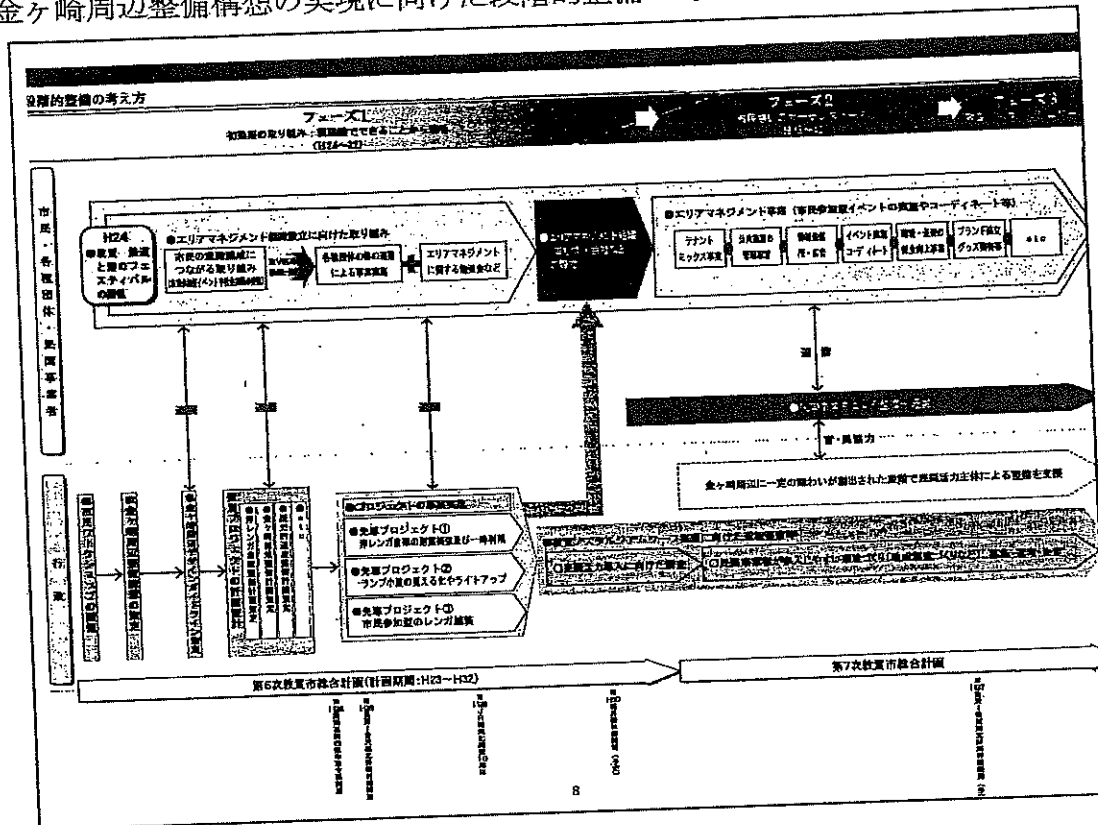
- ・ 四季をとおして移り行く地元の旬食材と、世界各地
から届けられる食材やスパイスを融合させた創造性
あふれる料理を提供



【ジオラマ館】 明治後期から昭和初期にかけての敦賀の
街並みを鉄道と港のジオラマで再現映像とジオラマを
連動させ、楽しみながら敦賀の歴史を学ぶことができる
よう、史実とエンターテイメント性の両立を実現



9 金ヶ崎周辺整備構想の実現に向けた段階的整備の考え方



10 調査所感

敦賀市では、駅周辺、商店街、金ヶ崎と3つのエリアを拠点に、回遊して楽しみながら賑わいを創出すべくまちづくりに取り組んでいる。

今回は、港町敦賀の風情や魚、食を楽しめる親水エリアとして、現存する歴史的建造物など往時の雰囲気を感じさせる資源を磨き、郷土に対する愛着や誇りを醸成すると共に多様な交流により地域活性化を図るべく、金ヶ崎周辺整備について、長期間にわたり開発に携わってきた市観光部企画担当係長より、赤レンガ倉庫を拠点とした地域活性化の取り組みについて説明頂くと共に現地を案内してもらった。

このエリアの整備については、初期段階から市民を巻き込み、市民意向を反映させるためにワークショップや勉強会等を開催し、その成果を市長あてに提言書として提出するなど、市民意識の醸成を図りながら進めていったところがポイントであると感じた。
また中・長期にわたる10年以上の整備構想をUR都市機構に編集作業やアドバイス業務を委託しノウハウを活用することで、整備構想計画の着手へと繋げると共に、整備方針や収支計画など利活用計画策定にも指名競争入札により丹青社という指定管理者に恵まれるなど、まさにPPP手法の成功事例であると言える。

ジオラマ館の設計・施工においても、その後の運営を見据えて取り組んだということで、箱物を作る際には行政が先に作った施設に運営会社を選定するよりも、民間と十分対話した上で、運営を先に考えた事業の組み立てをすることが重要であるという事を学ばせていただいた。

今後も敦賀ノスタルジアムワープ実現に向け、民間が参入しやすい環境づくりなどの取り組みや整備の進捗状況について、引き続き注目していきたい。

◎滋賀県長浜市

1 市勢の概要

(1) 位置

滋賀県の北部・湖北地方に位置し東西約 25 km、南北約 40 kmと南北に長い

(2) 地勢

東端を伊吹山地、北端を野坂山地、西端を琵琶湖で区切られ、市域面積は 681.02k m²で
広さは高島市に次いで滋賀県下第 2 位（陸部のみ面積は滋賀県下第 1 位）

(3) 人口と世帯

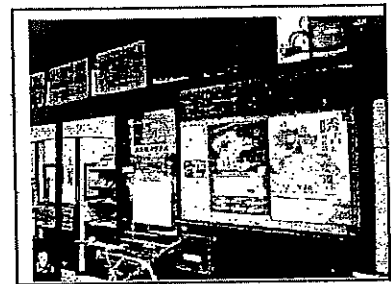
110,869 人（R5.8 月末）／42,570 世帯（R2.6 月末）

2 NPO まちづくり役場

(1) まちづくり役場の主な事業

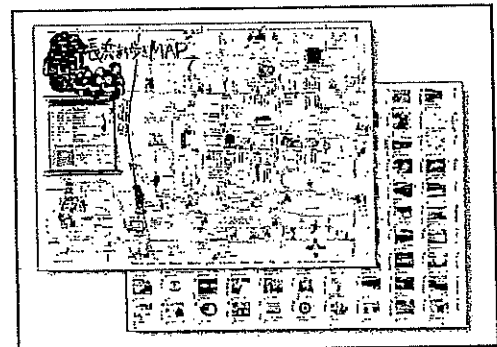
① 視察請け所

- ・ 視察団体の受け入れ、案内、説明等の活動拠点。
ピーク時は年間 400 団体以上、現在も 150～200 団体の
視察を受け入れ、視察を通じて交流を深めた全国のまち
とネットワークを結び情報交換している。



② 長浜まち歩きマップの作成

- ・ 商店街の優良店 100 店舗に協賛いただきながら
長浜のまちを歩くのに便利なマップを作成。



③ 黒壁グループ協議会事務局

- ・ 黒壁本館オープン以来、29 店舗ある黒壁グループ
の事務局として会員間の交流の場となっている。
また協議会主催の様々なイベントも企画。

④ 感響フリーマーケットガーデン

- ・ 土日祭日のみ、環境、健康、リサイクル、ガーデ
ニングを考える提案型のフリーマーケットを運営。

④ 近江文庫（文泉堂）

近江に関する図書、まちづくりの図書を中心に
自費出版された図書も扱っている。



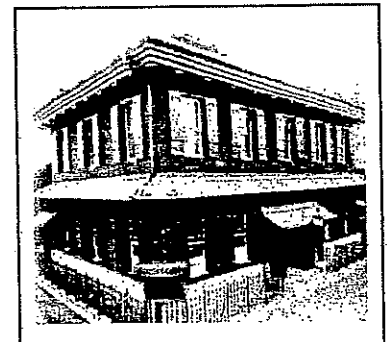
3 黒壁の歴史

(1) 天生 3 年(1575)頃、豊臣秀吉が今浜を長浜に改名

① 「町屋敷年貢免除」の朱印状のもと楽市楽座が実施。

朱印状は明治時代の終わりまで続き、長浜が商業都市
として発展。

明治 33 年(1900)に、北国街道沿いに第百三十国立銀行
長浜支店開業。



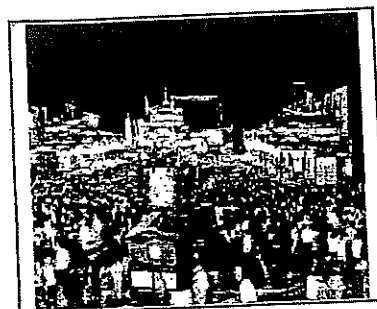
(2) マチの文化

長浜曳山まつり

中心市街地の経済的発展が
まつりを維持するために必要



マチの活力



(3) 市街地衰退の波

中心市街地の衰退

4000人/月 (昭和62~63年)



(4) 市民から親しまれた黒壁銀行

- ① 明治33年に建てられた国立第百三十銀行
長浜支店は黒漆喰の壁だったことから
黒壁銀行と呼ばれ親しまれてきた。

昭和20年にはカトリック教会となり
壁が白く塗り替えられた。



(5) 昭和63年4月11日 株式会社黒壁発足

1時間に「ひと4人と犬1匹」からの危機感

(6) 海外のガラス事情を視察

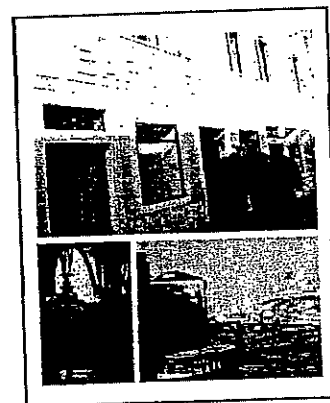
国内のガラスを視察

- ・ ガラスの土産物が自立つ
- ・ 本当にガラスで仕掛けて良いかという葛藤

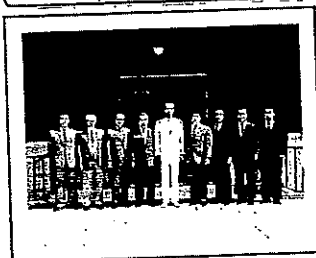
海外のガラス事情をよく知る人物と共に海外
のガラスを視察

- ・ 歴史や文化の高さを知る

⇒ 長浜で日本のガラス文化が栄える地を目指す



(7) 平成元年7月1日 黒壁ガラス館オープン



- ・ 海外買い付け
- ・ 海外研修
- ・ 海外交流

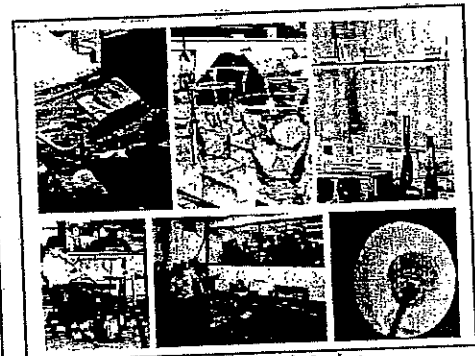


<イタリア・ドイツ・オーストリア・フランス・イギリスなど>

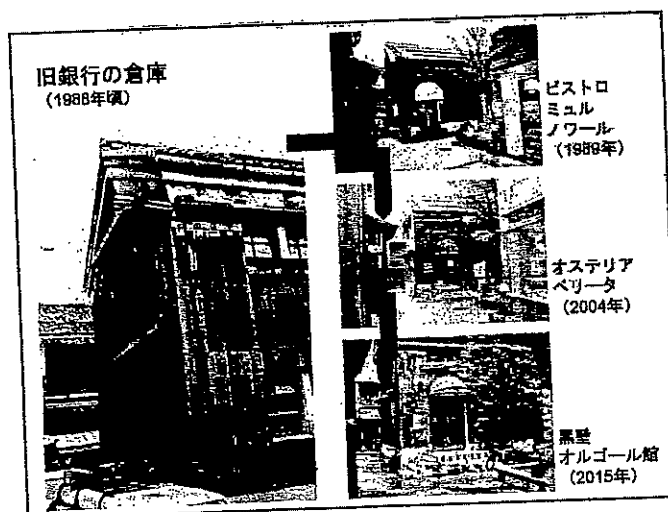
(8) 古い建造物の有効活用



<店内>



<ガラススタジオ内>



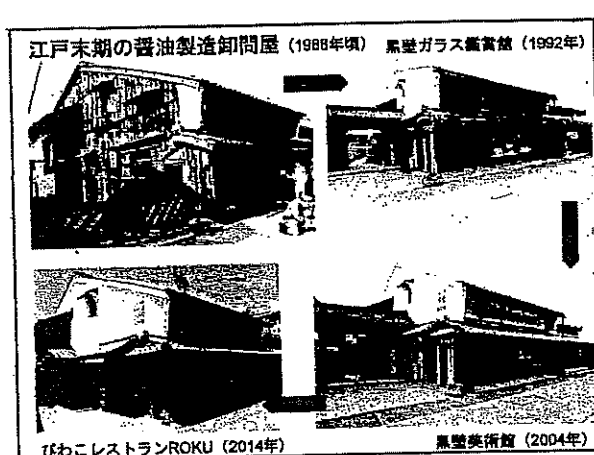
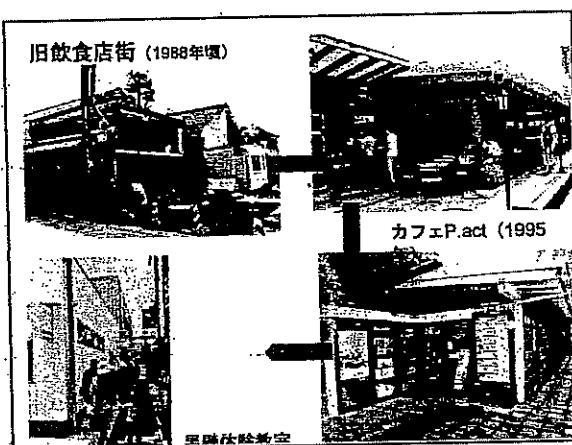
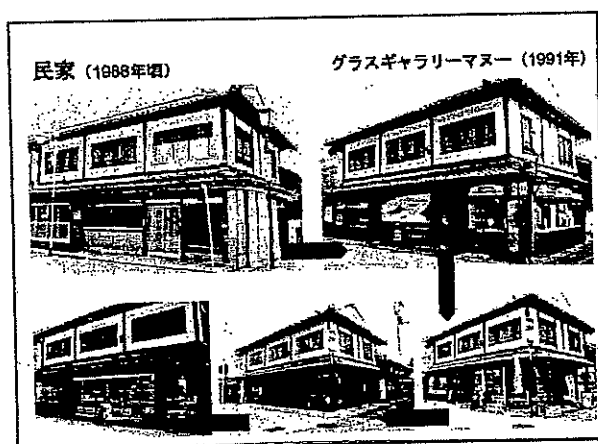
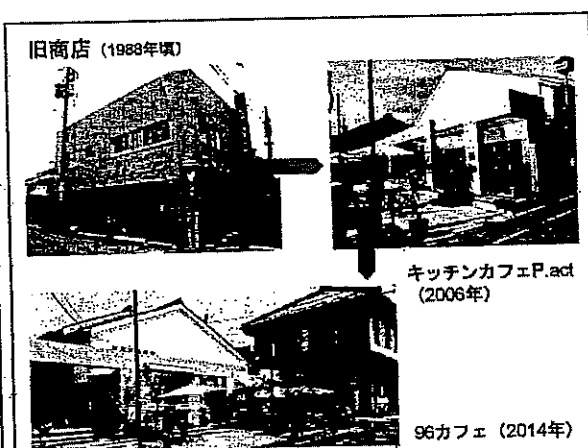
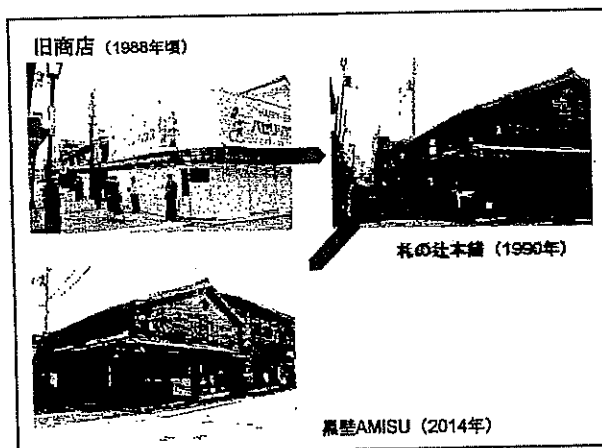
<オルゴール館内>

(9) 北国街道ガラス街道計画

- ① 長浜市の調査で、北国街道沿いに江戸時代から昭和にかけての古い建物が多く残っていることが判明。
それらの建物とガラス事業を北国街道沿いで融合させる計画。



(10) 旧商店・民家・旧飲食店街のリニューアル



4 黒壁を形成するための要素

(1) 建物を含めた歴史性

長浜の街並みには江戸時代からの建物が現存しており、ガラスが内包する2000年以上の深い歴史と融合すると、大資本企業がお金を出しても買えないものとなる

(2) 祭りを含めた文化芸術性

長浜曳山まつりに代表されるマチの文化と同様、ガラス文化が長浜に根付くことにより、文化芸術による特徴的なマチの発展を生み出していく

(3) 国際性豊かなもの

ガラスは長い歴史の中から世界中で馴染みのある素材であり、各国や地域に独自のガラス文化が存在する。ガラスを長浜の地場素材として根付かせることで、世界中から注目される場所にする

5 株式会社 黒壁

(1) 業務内容

- ① 国内ガラス工芸品の展示販売
- ② 海外アートガラス輸入、収集、展示販売
- ③ ガラス工房運営、オリジナルガラス制作販売
- ④ 食堂喫茶の運営
- ⑤ ガラス文化に関する調査研究、イベントの企画運営
- ⑥ 国際交流に関する情報、資料の収集、提供
- ⑦ 国際交流に関する業務
- ⑧ 酒類販売

(2) 主な受賞

平成 1 年	国土庁「国土庁長官賞」
3 年	建設省主催「平成 4 年度まちづくり功労者建設大臣賞」
4 年	日本建築協会主催「第 3 回日本建築協会賞」
7 年	まちづくり学会主催「全国まちづくり大賞アカデミー賞」 自治省主催「地域づくり団体自治大臣賞」
8 年	ニュービジネス協議会主催「ニュービジネス大賞リージョナル賞」
10 年	国土庁主催「地域活性化貢献企業特別賞」
18 年	経済産業省「がんばる商店街 77 選」
28 年	滋賀 Web 大賞 2016 企業部門 最優秀賞
29 年	長浜市景観広告大賞（黒壁ガラス館の正面扉）

6 調査所感

長浜は今から 400 年以上前に豊臣秀吉によって築かれ、楽市楽座の朱印状が明治まで続き、商人の町として栄えてきたが、昭和 40 年代頃より郊外型大型店の出店により、中心市街地が衰退し始めた。

一方で、街の中心部には明治 33 年(1900)に、第百三十国立銀行長浜支店として建てられた黒漆喰の外壁から「黒壁銀行」の愛称で親しまれていた建物（現在の黒壁ガラス館）があり、それらの有効活用も含め、昭和 63 年に建造物の保存と中心市街地活性化を目的として、長浜市と民間企業 8 社による出資総額 1 億 3 千万円で第三セクター「株式会社黒壁」が設立された。

それらの背景には秀吉の時代、城下町として 600 店もあった商業施設が、昭和 63 年頃は店舗数も 120 店にまでに減少してしまうと共に、買い物客も月 20 万人から 4 千人へと減少してしまい、商店街の衰退の象徴とも言えるべく、アーケードの人通り調査を実施したところ、「1 時間に人 4 人と、犬 1 匹」という実態があり、地元有志をはじめ行政が全国に先駆けて「まちづくり会社」を立ち上げるきっかけとなり、以降、それまで地場産業にも存在しなかったガラス事業を核として、ガラス館やガラス工房、レストランなどの店舗を次々に手掛け、古い建物と新しいガラス文化が、来街者を復活増加させる大きな起爆剤となった。

更に北近江秀吉博覧会を機に、平成 10 年に「NPO まちづくり役場」が設立され、黒壁事業を多面的に支えると共に、黒壁の精神を様々な形で発展させる拠点となり、まさに長浜のまちづくりの役割的存在となっている。

今回の視察もこの「まちづくり役場」（山崎弘子代表）を通して、長浜商店街連盟・沢田昌宏会長と、元長浜市議会議員で長浜文泉堂・吉田豊店主のお二方を紹介いただき、黒壁や商店街の歴史、現状、課題等、更には行政との関わりなどについて説明していただいた。

特徴的なところは、秀吉に端を発すると地元の方が語るように、当時、城下の多くのことを民衆に任せた「楽市楽座制度」などの民衆主導の自治文化が、今もなお根付いている点である。

そのような気質が、行政主導のまちおこしではなく民間主導のまちおこしとして、それぞれが責任を持って創意工夫をしながら進める姿勢へと繋がり、「無一物無尽蔵」という“何物にも執着しないことによって道は開ける”との、長浜出身の思想家・西田天香氏の考え方が大きく影響しているようである。

そしてお金ではない普遍的な軸としての、①歴史、②文化、③国際性、といった 3 つのコンセプトのもと生まれたのが、長浜独自の“ガラス文化の追求とまちづくり”であり、現在に至っている。

平成元年度には約 200 万人が訪れるまでに注目度も高まり、商店街を新しい形で再生した先進事例として、今もなお全国から視察が相次いでいるが、やはり課題もあるようで、観光地といった意味合いで来街者は増加したものの、決して市民の買い物客を呼び戻している訳ではなく、老舗店舗も全国の商店街同様、後継者不足といった切実な問題を抱えていた。

また近年は空き店舗が少し見受けられるようになりつつあるようで、その対策と個店の一層の独自性が重要であるとのことであった。

今後も先駆者として、長浜ならではの「黒壁」をはじめとする「まちづくり役場」や「商店街」など、民間主導による更なる改善に向けた取り組みを注視していきたい。

◎滋賀県長浜市・えきまち長浜株式会社

1 中心市街地の課題

① 賑わいの維持

賑わいを維持するために魅力を創出し続けなければならない宿命ともいうべくプレッシャー

② 量から質への転換

立ち寄り型から滞在型への転換、高感度層の誘客

③ 居住者の視点からのまちづくり

市民の消費の受け皿としての商業機能や都市福利機能の低下

2 長浜市の新たな1ページ～黒壁から駅前へ～

市の玄関口である長浜駅周辺の生まれ変わり

えきまち長浜が街をプロデュース

えきまち長浜株式会社

<平成26年9月設立> 長浜市をはじめ長浜商工会議所、地元の中小企業者などの出資による第3セクター方式の株式会社（資本金49,500千円）

<事業内容> ・ 長浜駅東地区再開発ビル（当ビル）の管理運営、公共施設管理
・ 都市再生推進法人としての長浜駅周辺のエリアマネジメント事業



3 エリア・マネジメント × 再開発

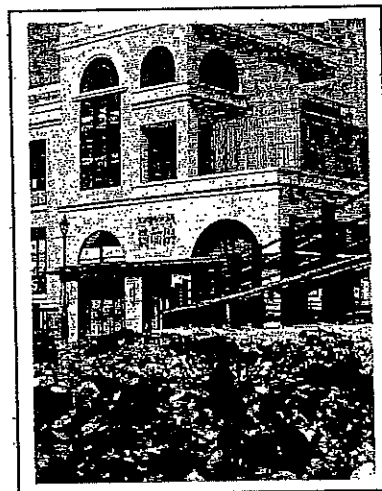
★ えきまち長浜㈱のディベロッパー機能

- 適切な土地利用のための土地・建物の取得
- 権利者として市街地再開発などの市街地整備事業を推進
- 良識な資金調達（補助制度の積極的活用）
- 安全な資産運営

★ えきまち長浜㈱のプロデューサー機能

再開発ビル

- ライフスタイルのブランド化の実践
 - ・ 商品企画開発
 - ・ 地元テナントの育成（インキュベーション）
 - ・ 湖北のテナント誘致（ショーケースづくり）
 - ・ 一般のテナント誘致
 - ・ ライフスタイルショップの運営
- テナント管理
- プロモーション（イベント・広告宣伝）
- 施設管理（清掃・警備・機械管理など）
- 公共空間（緑地）の管理



駅 周 辺

- 公共空間（デッキ）の管理
 - 駅前駐輪場、駅西駐車場の管理・運営
 - まちなみ誘導（デザインコードとデザインガイドライン）
 - ライフスタイルのブランド化の実践
（駅周辺で共同したライフスタイル商品の企画開発）
 - エリア共通のプロモーション
販促イベント、広告宣伝など
 - 公共的サービス、コミュニティサービス機能の導入と調整
（例：医療モール・ケアハウス・デイサービスセンター、託児所）
- ※ 都市再生推進法人の指定
駅前の事業者（えきまち長浜㈱を含む）との市の包括的連携協定

広 域

- ライフスタイルのブランド化の実践
 - ・ 眠っている商品の発掘、企画開発
 - ・ 情報の集約化と発信
 - ・ 地域資源の資産化ネットワークづくり
- コンパクトシティの促進
 - ・ 中心市街地（駅前）への集客と居住 PR
 - ・ 利用しやすい公共交通づくり
- まちづくりを担う人材の発掘



4 施設の概要

掲げる方針

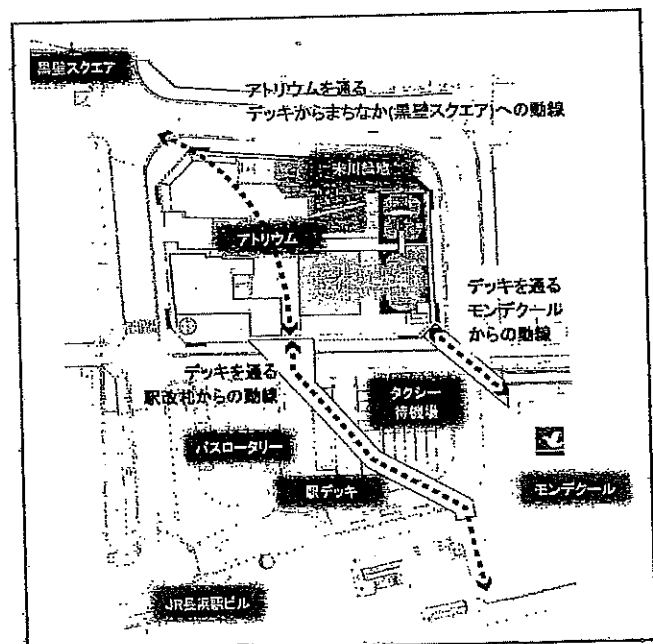
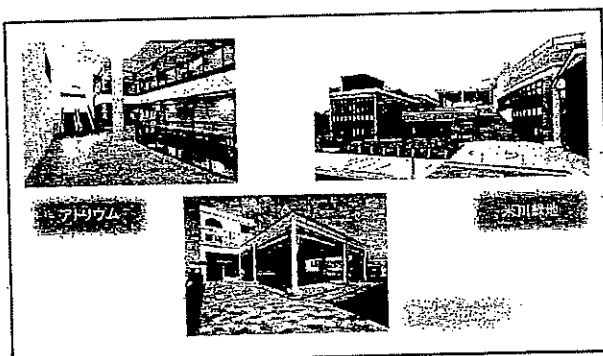


人・コト・モノの交流
賑わいの発掘と継続

- 駅前の好立地（駅からデッキで施設に直結
- 駅とまち（黒壁スクエア等）を繋ぐ施設
- 人の集まる「賑わいを生み出す場」を多く設置

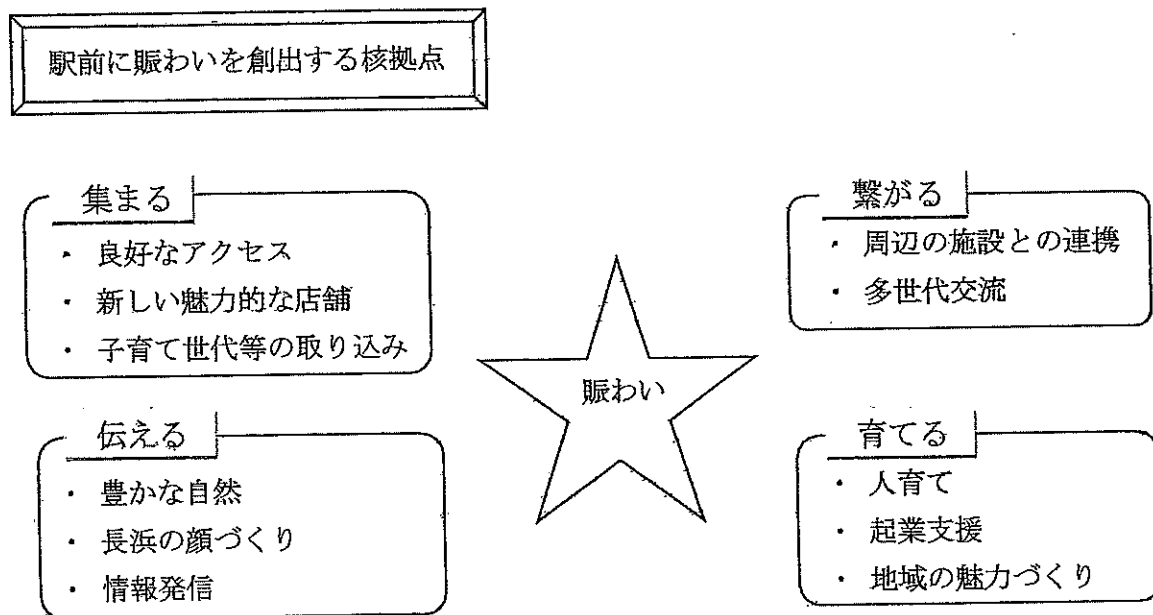
【施設の諸元】

- ・ 延床面積 : 4,980 m²
- ・ 店舗床面積 : 2,580 m² 780 坪
- ・ 階数 : 地上 2 階 一部 5 階建て



5 施設のコンセプト・ターゲット

【開発の視点】



【施設コンセプト】

Matching (マッチング) ～人、情報、場所～

「駅まえ」と「まちなか」 「挑戦したい人」と「挑戦できる場」
「子ども世代」と「働き盛り世代」と「シルバー世代」
「長浜に暮らす人」と「長浜を訪れる人」
「知りたい人」と「知ってほしい人・もの・こと」を引き合わせる施設

【ターゲット】

新しい世代の方々

リーダーターゲット

これまで中心市街地をあまり訪れていない「子育て世代・若者世代」

これまで駅を利用している

これまで駅を利用している
「駅利用者・周辺住民・



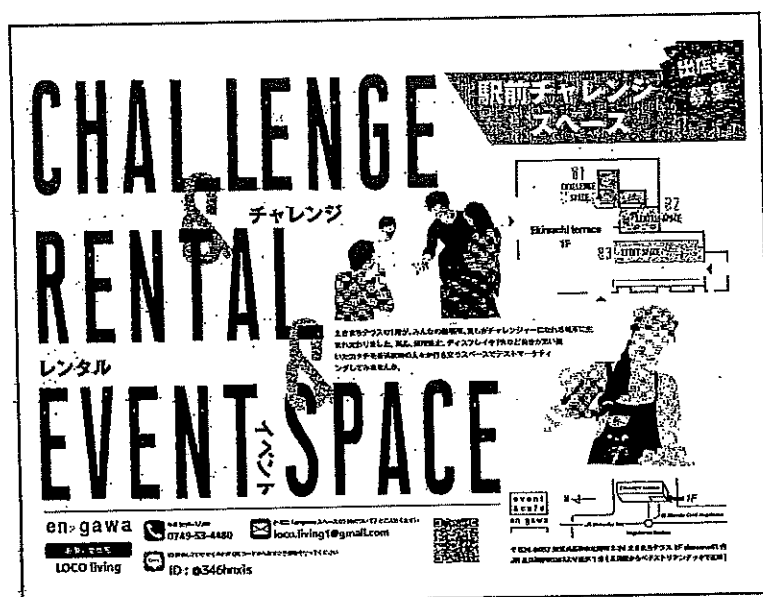
【MD コンセプト】

～ ローカル / デイリー / オリジナル ～ MD 模索

日常的に利用される機能

施設を訪れる目的となる機能

(特化型店舗、マルシェ、チャレンジショップ、児童支援施設等) で構成される施設



6 調査所感

黒壁スクエア等を中心とした「まちなかエリア」の観光客中心の集客から、日常的に利用される駅前への集客誘導と居住のPRを目的に、長浜らしい第3セクター方式の株式会社がプロデュースし、都市再生推進法人として、①長浜駅南地区（モンデクロール長浜）②長浜駅北地区（ポレスター長浜駅前）そして今回視察訪問した ③長浜駅東地区（えきまちテラス長浜）の長浜駅周辺整備事業の役割を担っている「えきまち長浜㈱」。

今回、黒壁同様「NPO まちづくり役場」（山崎弘子代表）の仲介で、「えきまち長浜㈱」の代表取締役副社長である町井義秀氏に「えきまちテラス長浜」の開発の経緯や運営状況等について現地案内と共に説明していただいた。

参考までに都市再生推進法人制度とは、人口減少・超高齢化社会の到来を迎え、人口減少に伴う社会保障費の増大による財政状況のひっ迫、マンパワーが減少していく状況を踏まえ、これまで行政が担ってきた公共的サービスの提供を新たな公共の担い手として民間事業に任せるもので、法人に指定された民間事業者は、都市再生特別措置法に基づき公的な位置づけが与えられると共に、国や市から公的な支援措置が受けられることで自主的で持続的な取り組みが可能となるスキームとなっていて、令和2年10月現在、全国で75法人が指定されている。

このような制度を上手く活用しながら、「まちなかエリア」の活性化に満足することなく、違

った視点からの開発は見習うべき点を多く感じた。

また「えきまちテラス長浜」についても、平成 29 年 7 月の開業以来、駅直結の複合施設として「グルメ」や「ショッピング」、「各種サービス」のテナントの募集から店舗管理まで一貫した運営を行うと共に、デッキやイベント広場、アトリウム等において音楽イベント、ペDESTリアンデッキでのイルミネーション、他にもフリーマーケット、オープンカフェ、チャレンジショップ、各種体験教室、講演会など多様なイベントを実施し、駅前の賑わい創出に寄与していることは、本市の駅周辺の活性化に向け大変参考となった。

今後も、長浜市における黒壁スクエアと駅周辺整備事業の進化を注視していきたい。



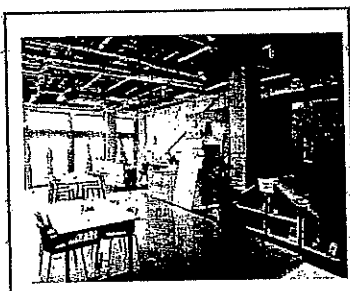
<町井副社長との懇談>



<小さなびわ湖水族館オサカナラボ 1F>



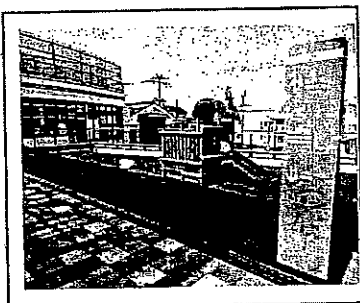
<シェアスペース 1F>



<イベントスペース 1F>



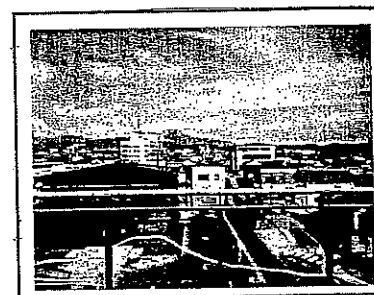
<地産お土産コーナー1F>



<グリーンテラス 2F>



<イベント広場 2F>



<展望デッキからの眺望>

◎滋賀県近江八幡市

1 市勢の概要

(1) 位置

滋賀県中部、琵琶湖東岸（湖東）に位置する。近江商人や安土城で知られる。

(2) 地勢

市域は全般に平坦地で、鈴鹿山系に源を発する諸河川により形成された湖東平野の一角をしめる。

(3) 人口と世帯

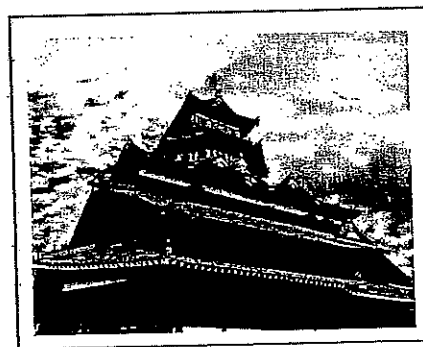
81,767 人（R5.8 月末）／ 35,368 世帯（R5.8 月末）

2 VR（ヴァーチャルリアリティ）安土城事業

(1) 目的

「安土城を幻のままで終わらせたくない」

ヴァーチャルリアリティ技術を活用し、幻の城・安土城の復元を行うことで、観光・文化振興などの一つのツールとしてまちづくりに役立てていく。



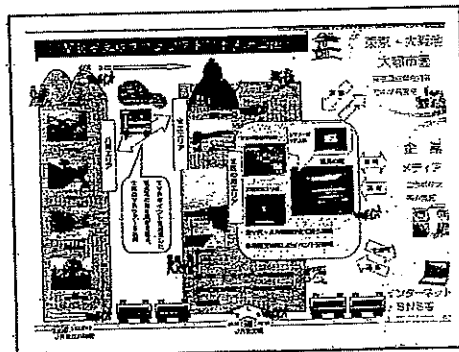
(2) 事業の概要

① スマートフォン・タブレット型 VR 安土城の公開

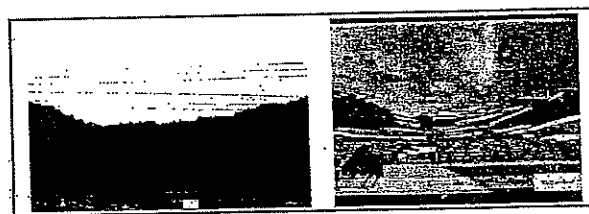
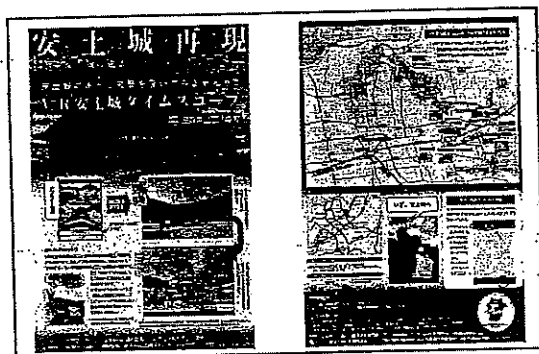
- ・ 市内に 12 ヶ所のビューポイントを設定
- ・ 各ポイントでアプリをきどうすることで GPS を感知して、当時の安土城の姿を現地で体感できる

② シアター型 VR 安土城システムの公開

- ・ 勇壮な安土城、城下町の姿を大画面で体感できる
- ・ 復元された安土城、城下町の世界をコントローラーを使うことで、利用者が自由に移動して散策することができる



<スマートフォン・タブレット型 VR 安土城>



(現在) ⇨ (VR画像)

(3) 事業の経過

【平成 22 年度】

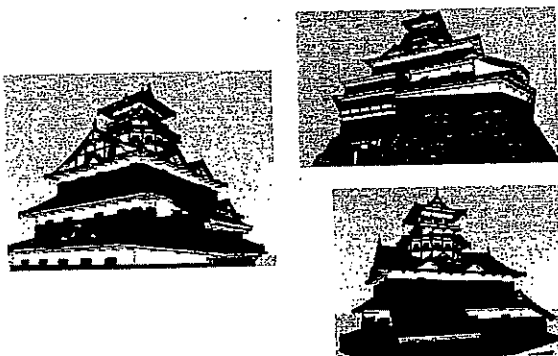
- ・ 内部検討、協議 計 31 回

【平成 23 年度】

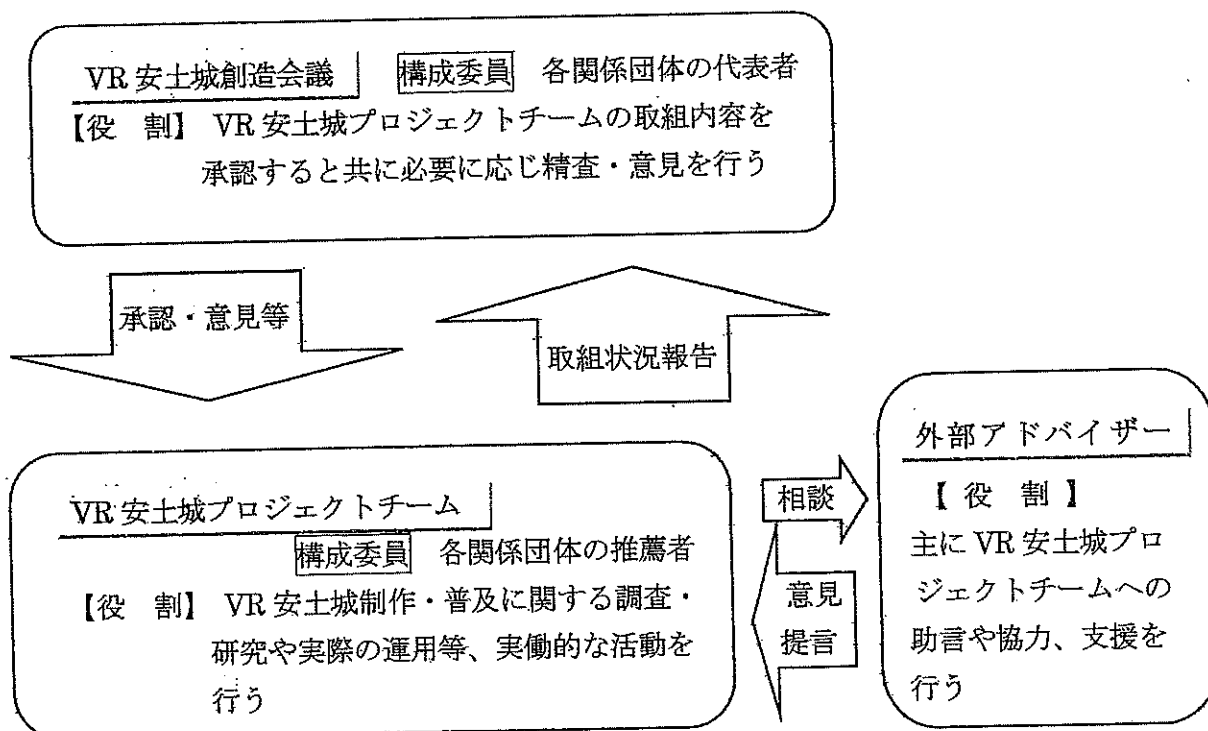
- ・ VR 安土城創造会議 2 回開催
- ・ VR 安土城プロジェクトチーム
ミーティング 5 回
- ・ 花園大学との共同研究

天主復元 3D モデルの作成 58.2 万円

花園大学作成安土城天主 3Dモデル



● VR 安土城創造会議 体制図 ●



● VR 安土城創造会議委員・同プロジェクトチームスタッフ ●

団体名	VR 安土城創造会議	VR 安土城 プロジェクトチーム
安土町地域治区地域協議会	会長	—
安土まちづくり協議会	—	役員
安土町商工会	会長	主査
安土町観光協会	会長	事務局長
安土町観光ボランティア ガイド協会	会長	副会長
近江八幡商工会議所	会長	まちづくり GL
近江八幡観光ボランティア ガイド協会	会長	副会長
大阪大学大学院（工学研究科 環境エネルギー専攻）	准教授	准教授
滋賀県立八幡工業高等学校	—	教諭
近江八幡市安土町総合支所	支所長	文化体育振興課長
近江八幡市総合政策部	総合政策部長	総合政策部次長

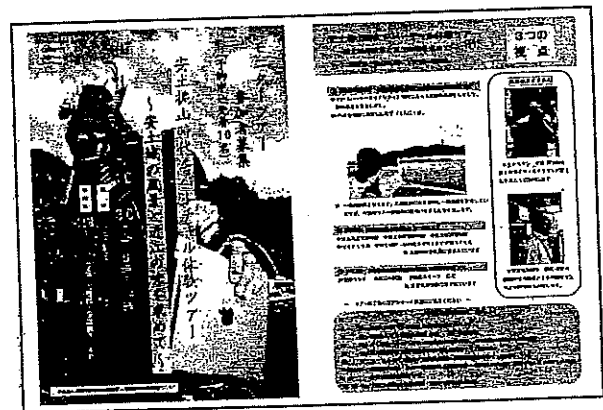
【平成 24 年度】

- ・ VR 安土城創造会議 4 回
- ・ VR 安土城プロジェクトチームミーティング 4 回
- ・ 大阪大学共同研究 49.8 万円
3D モデル基礎データを実用段階へとするためのデータ入力実施
- ・ VR 安土城アプリ iOS 版作成 平成 25 年 3 月 1 日リリース
京都高度技術研究所 94.5 万円
- ・ モニターツアー実施

<タブレット・スマートフォン型
VR 安土城アプリ天主画像>



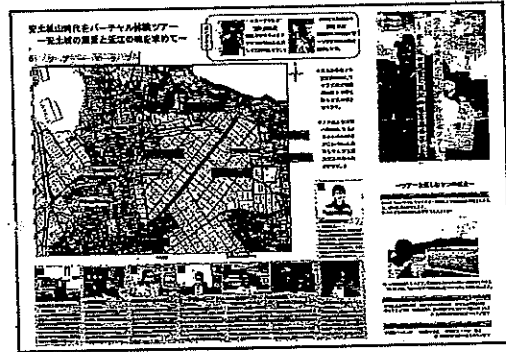
<タブレット版モニターツアー>



【平成 25 年度】①

- ・ 大阪大学共同研究 49.8 万円
作成コンテンツの工夫や画像の向上
のためにシステムの改良実施
- ・ VR 安土城アプリ アンドロイド版作成
平成 25 年 3 月 1 日リリース
京都高度技術研究所 94.5 万円
- ・ タイムスコープハンターとコラボ事業実施

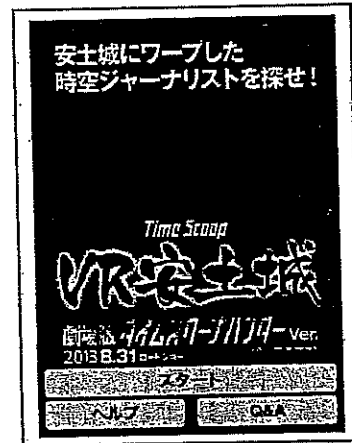
<タブレット版モニターツアー資料>



【平成 25 年度】②

<タイムスコープハンターとのコラボ事業実施>

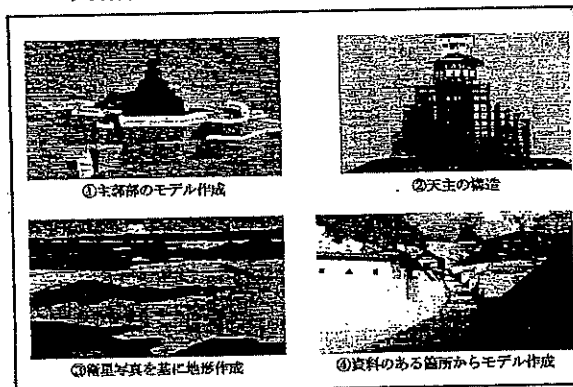
- ・ 高精度 VR 安土城システム作成
凸版印刷株式会社
(プロポーザルにより選定) 3,722.8 万円
- ・ 平成 26 年 3 月 30 日 高精度型システム
報告会 安土文芸セミナーヨ



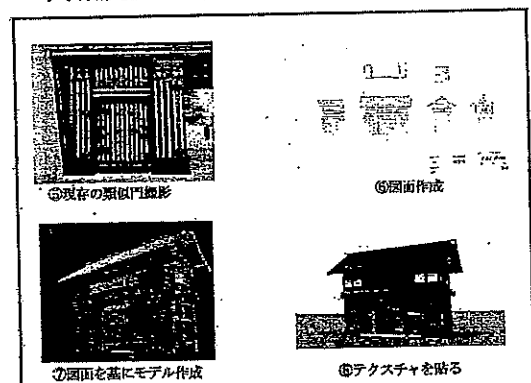
【平成 26 年度】

- ・ 信長の館に高精度型シアター常設
凸版印刷株式会社 1,592.6 万円

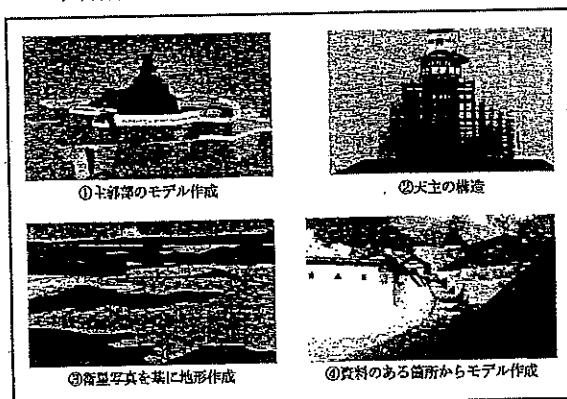
<高精度型 VR 安土城システム作成 I>



<高精度型 VR 安土城システム作成 II>



<高精度型 VR 安土城システム作成 III>



<高精度型 VR 安土城システム作成 IV>



【平成 27 年度】①

- ・ 著作物の利用に関する規則制定
- ・ 信長の館 VR ツアー開始
- ・ 信長の館（公益財団法人安土町文芸の郷振興事業団）が DVD、ポスターの作成、販売開始
- ・ 職員用観光名刺作成
- ・ テレビ放映、雑誌掲載等対応

<ポスター（信長の館 販売用）職員観光名刺>



【平成 28 年度】

- ・ テレビ放映、雑誌掲載等対応

<観光アプリ『ストリートミュージアム』>



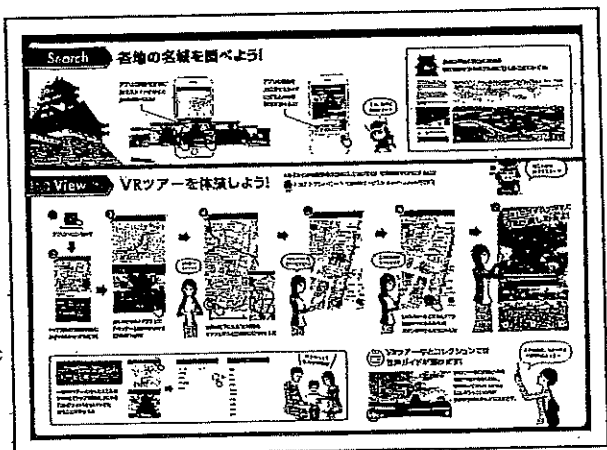
【平成 29 年度】

- ・ 城なび館でダイジェストムービーの公開開始
- ・ VR 映像を利用したストリートミュージアムアプリの公開開始
- ・ テレビ放映、雑誌掲載等対応

【平成 30 年度】

- ・ VR 映像を利用したストリートミュージアムアプリの公開 72.0 万円
- ・ テレビ放映、雑誌掲載等対応

<観光アプリ『ストリートミュージアム』>



【平成 31/令和元年度】

- ・ ストリートミュージアムアプリ VR スポット追加 128.3 万円
- ・ VR 映像を利用したストリートミュージアムアプリの公開 79.2 万円
- ・ テレビ放映、雑誌掲載等対応

【令和 2~4 年度】

- ・ VR 映像を利用したストリートミュージアムアプリの公開 79.2 万円
- ・ テレビ放映、雑誌掲載等対応

(4) 事業の効果

<高精度シアター型VR視聴者数>

年度	VR視聴者数(人)
平成25年度	57,793人
平成26年度	57,793人
平成27年度	57,793人
平成28年度	57,793人
平成29年度	57,793人
平成30年度	47,598人
平成31年度/令和元年度	57,062人
令和2年度	35,795人
令和3年度	29,883人
令和4年度	14,039人
※令和4年度は7月までの実績	
合計 348,723人	

<スマートフォン・タブレット版>

VR安土城アプリ(タイムスコープVR安土城) ダウンロード件数(平成25~30年度)

年度	iOS版	アンドロイド版	年度計
平成25年度	1,097	795	1,892
平成26年度	1,097	795	1,892
平成27年度	1,097	795	1,892
平成28年度	1,097	795	1,892
平成29年度	1,097	795	1,892
平成30年度	1,097	795	1,892
令和元年度	1,097	795	1,892
令和2年度	1,097	795	1,892
令和3年度	1,097	795	1,892
令和4年度	1,097	795	1,892
合計 19,413件			

<ストリートミュージアムアプリ利用実績> (平成29~令和3年度)

年度	トップ画面閲覧	YouTube再生	VRツアー体験
平成29年度	12,456	3,110	792
平成30年度	12,456	3,110	792
平成31年度/令和元年度	12,456	3,110	792
令和2年度	7,576	1,913	1,114
令和3年度	7,576	1,913	1,114
計	43,514	10,263	4,974
VRツアー体験者=実際に安土に訪れた人数 4,974人			

<高精度シアターVR画像使用状況>

年度	書籍	テレビ	上映	物販	その他	計
平成25年度	3	9	5	0	4	21
平成26年度	3	9	5	0	4	21
平成27年度	3	9	5	0	4	21
平成28年度	3	9	5	0	4	21
平成29年度	3	9	5	0	4	21
平成30年度	3	9	5	0	4	21
平成31年度/令和元年度	3	9	5	0	4	21
令和2年度	3	9	5	0	4	21
令和3年度	3	9	5	0	4	21
令和4年度	3	9	5	0	4	21
計	30	81	40	0	16	167
※令和4年度は10月までの実績						
※令和29年9月4日~8日には、パリUNESCO本部『日本へのクリエイティブな旅展2017』文化庁特別企画展スペースで上映						

3 調査所感

近江八幡市は、平成22年に旧近江八幡市と旧安土町が合併し現在に至っているが、旧安土町に1579年織田信長によって創建され、たった3年で炎上し消失してしまった名城「安土城」を貴重な観光資源更には文化振興資源として活用すべき事業に着手した。そもそも安土城は実在の姿を見たという人が少ないことから謎多き名城とも称されていたが、発掘調査や研究資料に基づき、VR(バーチャルリアリティ)技術により、幻の城・復元を行った。

今回の視察では、近江八幡市文化振興課の学芸員からVR安土城事業の概要、および経過等について説明いただくと共に、旧安土町在住である岡田議長にも同席いただいた上、家宝とも言える地元ならではの貴重な資料も拝見させていただきながら、現地視察にも同行頂き、率先して案内役を務めていただくなど、本事業に対する熱い想いを拝聴させていただきました。

安土城天主「信長の館」では、1992年「スペイン・セビリア万国博覧会」の日本館のメイン展示として安土城天主の最上部5階6階部分が、内部の障壁画と共に原寸大として復元されたものを、万博終了後に旧安土町が譲り受け移築し、新たに当時の瓦を焼きあげて再現した庇屋

根や天井、金箔 10 万枚を使用した外壁の復元も含め、見事に保存・展示されていました。

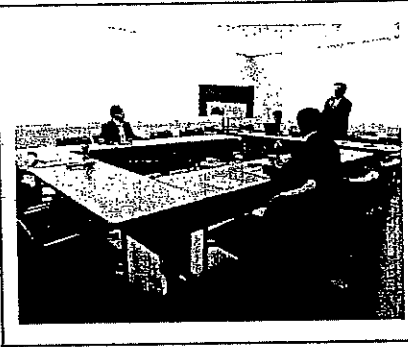
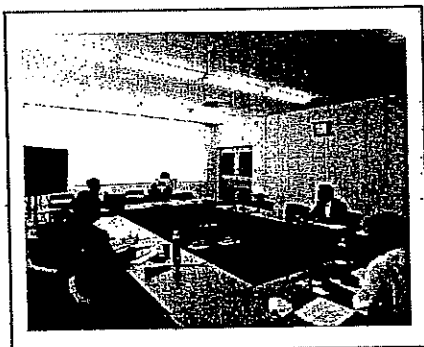
その豪華さと美しさは、まさに信長の姿勢と思想を表現した空間であり、当時の日本の建築技術（世界初の木造構想建築）の素晴らしさを目の当たりにした思いでした。

また、VR 安土城シアターでは、安土山に建てられた安土城と家臣の屋敷、城下町を CG で再現した 15 分のシュートムービーを鑑賞し、天正 7 年（1579）の築城から約 450 年の時を経て、VR 空間（仮想現実）としてよみがえらせた幻の城・安土城を体感することができた。

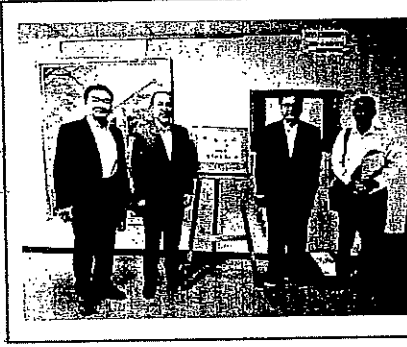
常陸太田市でも、歴史資源および文化振興の面からも、戦国武将・佐竹氏の居城「舞鶴城」を、各種史料の照合や、遺跡発掘調査等に基づき、VR 技術を活用し復元するような事業展開が図れないか、将来に向けその可能性を感じることができた意義ある視察であった。

近江八幡市としても、今後 VR アプリの費用対効果の検証をはじめ、飽きられないような更新などの活用方法を検討しながら、更なる周遊の仕掛けづくりに取り組んでいくとのことで、VR を活用した観光の先進地として、更なる展開に注目していきたい。

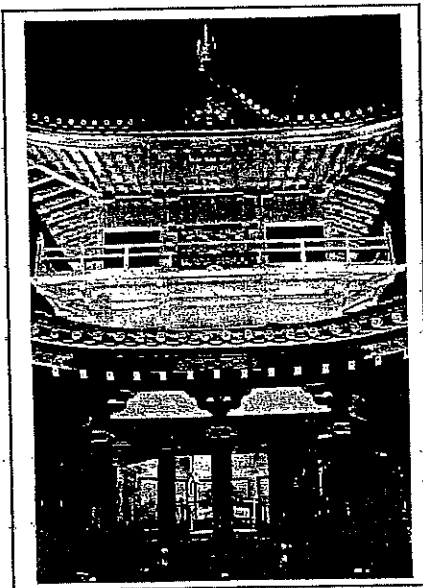
<近江八幡市役所での担当学芸員からの説明>



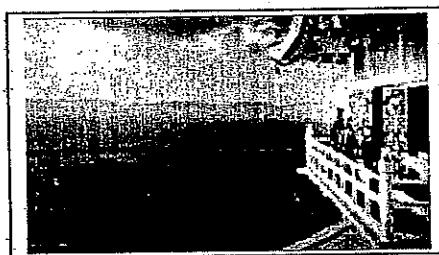
<岡田議長同行のもと現地へ>



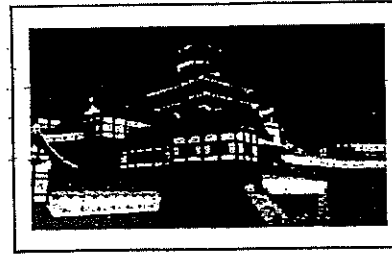
<信長の館・安土城天主展示>



<VR / ショートムービー>



<昼間の大手門から天主へ>



<夜の天主>

令和5年12月17日

常陸太田市議会議長
藤田 謙二 様

会 派 名 太政クラブ
代表者名 後 藤 守

政 務 活 動 実 施 届

このことについて、下記日程により調査研究活動のため視察を実施しますのでお届けします。

記

調査研究費／研修費		
視察月日	令和6年2月15日（木）	
視察地及び 調 査 事 項	月 日	2月15日（木） 午後1時00分～午後4時00分
	相 手 方	㈱さかいまちづくり公社
	調 査 事 項 1	ふるさと納税の取り組みについて
	調 査 事 項 2	<現地視察> ・ 自動運転EVバス乗車・道の駅さかい・citywave Tokyo Sakaimachi ・ アーバンスポーツパーク・干しいも工場・Hoshiimono 100 café
宿泊連絡先		
視察者氏名 (◎ 責任者)	◎ 高星 勝幸	藤田 謙二

交通費・旅費・宿泊費明細

交通費・旅費・宿泊費明細									
月 日	出発地	経由地	到着地	鉄道賃，船賃，航空賃，車賃				宿泊料	計
				区分	路程 (k m)	運賃	特急・急行		
2月15日	常陸太田駅		古河駅	鉄道	102.2	1,980円			
	古河駅		河岸の駅さかい	バス	14.4	630円			
	河岸の駅さかい		古河駅	バス	14.4	630円			
	古河駅		常陸太田駅	鉄道	102.2	1,980円			
合計						5,220円	円	円	円
一人当費用	交通費	5,220円				1人当り 5,220円			
	宿泊料					合計 2人 10,440円			
上記以外の支出	経費内訳	経費内訳明細				経費内訳	経費内訳明細		
	土産費	1,080円				¥2,700の2/5	2箇所		
	視察料金	22,000円					1人 11,000円		
	会場使用料								
備考	無会派3名参加による延べ5人での視察のため、土産費の太政クラブ負担経費を2/5で計上								

※ 区分欄記入→利用交通機関（鉄道, 船, 航空機, バス・タクシー・レンタカー・自家用車）

※ 航空機・タクシー・レンタカー使用時は領収書添付

2. 日 程 （別紙日程表のとおり）

領 収 証

常陸太田市議会
大政クラブ

様 No. 0004803

★ ￥22,000-

但し 視察負担金として

令和6年2月15日

上記正に領収いたしました

登録番号: T1050001041541

8%

10%

本体 ￥20,000 消費税 ￥2,000

取 入
印 紙

内訳	
現金	
小切手	

消費税額等

株式会社 さかいまちづくり公社

〒306-0493 茨城県猿島郡境町3-4-10

TEL 0280-87-5011 FAX 0280-87-5015

道の駅 さかい河岸レスト

SAKAI TEPPAN & WOLF

さしま茶サロン さかい河岸へーカリー



0000-0100

2024年 2月13日火曜日

領 収 証

大政クラブ

様

￥2,700-

(消費税等 ￥200)

但し、和菓子代として
玉喜屋本店

常陸太田市和田町1600-1

TEL FAX 0294-85-0108

登録番号 T5-8103-2460-6170

*保管上のお願

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者

領収証No 3202

領 収 書

和・洋菓子・食料品・酒類

玉喜屋本店

常陸太田市和田町1600-1

TEL(FAX)0294-85-0108

登録番号 T5-8103-2460-6170

2024年 2月13日(火)No0

和洋菓子

2個 x 単1,350

￥2,700軽

8%対象

￥2,700

8%税

￥200

合 計

￥2,700

(うち消費税等

￥200)

お預り

￥10,000

お釣り

￥7,300

生物ですのでお早にお召し上がり
下さい。

1貫

0100

政務調査 視察行程表 <太政クラブ>

2月15日(木) 綱さかいまちづくり公社 営業企画推進部 案内：新井伴明様	茨城県境町 <水郡線> <水戸線> <宇都宮線> <朝日自動車バス>					道の駅さかい ☎ 0280-87-5011
	常陸太田駅	⇒ 水戸駅	⇒ 小山駅	⇒ 古河駅	⇒ 西口	⇒ 河岸の駅さかい
	7:52 発	8:24 8:39	10:02 10:07	10:21 10:45		11:09
	… 道の駅さかい 昼食		境町(視察)【ふるさと納税の取り組み】		自動運転バス定期便乗車	
	11:19	11:30 ~ 12:30	13:00 ~ 14:10			14:20 ~ 14:35
citywave Tokyo Sakaimachi~境町アーバンズポーツパーク					S-Lab 3rd(干しいも第2工場)視察	
14:45 ~ 15:00					15:05 ~ 15:15	
S-Lab(干しいも第1工場)、Hoshimono 100 cafe 視察					道の駅さかい	河岸の駅さかい
15:25 ~ 15:35					15:40 ~ 16:40	16:51
<朝日自動車バス>					<宇都宮線> <水戸線> <水郡線>	
⇒ 古河駅 西口米原駅					⇒ 小山駅	⇒ 水戸駅
17:23 17:36					17:50 18:05 19:33 20:19	20:37 20:39 20:53
					⇒ 上菅谷駅	⇒ 常陸太田駅
昼食：茶蔵 2F						

令和6年3月11日

常陸太田市議会議長

藤田 謙二 様

会派名 太政クラブ
代表者名 高星勝幸

政務活動費視察等報告書

下記のとおり、調査研究活動のため視察を実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 視察先 (1) 蒨さかいまちづくり公社 (茨城県猿島郡境町)
 - ① ふるさと納税の取り組みについて
 - ② 現地視察
 - ・ 自動運転EVバス乗車 ・ 道の駅さかい
 - ・ citywave Tokyo Sakaimachi ・ アーバンスポーツパーク
 - ・ 干しいも工場 ・ Hoshimono 100 cafe
2. 期 日 令和6年2月15日(木)
3. 参加者氏名 高星勝幸・藤田謙二
4. 視察項目等 別紙のとおり

政 務 活 動 視 察 等 報 告 書

令和6年3月11日

常陸太田市議会

議長 藤 田 謙 二 殿

常陸太田市議会 太政クラブ 代表 高星 勝幸 ㊦

【 研修視察地 】 茨城県猿島郡境町・(株)さかいまちづくり公社

- ・ ふるさと納税の取り組みについて
- ・ ふるさと納税を活用した各施設の見学

【 日 時 】 令和6年2月15日(木) 午後 1時00分～午後 4時30分

【 参 加 者 】 高星 勝幸 藤田 謙二

【 視 察 内 容 】

◎ 茨城県猿島郡境町

1 町勢の概要

(1) 位置

関東平野のほぼ中央、首都50km県内にあり、茨城県の西南部、県都水戸市までは70km。町の西南部に利根川が流れ、川を挟んで千葉県に面している。また周囲は古河市、坂東市、五霞町、千葉県野田市に隣接している。

(2) 地勢

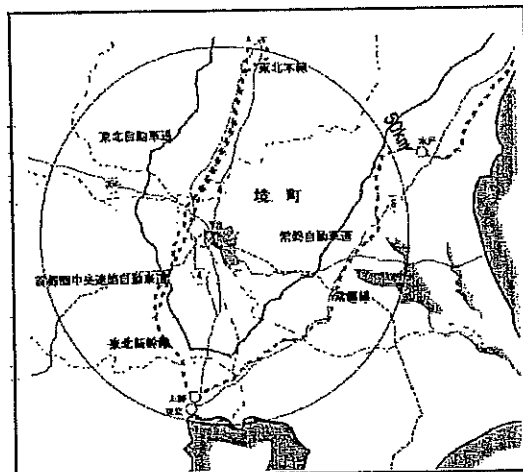
東西に8km、南北に11kmの長方形に近い地形で、面積は46.59km²。

利根川流域に形成された平坦沖積地帯と、古河市・坂東市に接する洪積台地からなり、主に低湿地は水田、台地は畑地を形成している。

気候は太平洋側の温暖な地域で、冬季における降雪は年数回と少ないものの三国山脈から吹き下ろす乾燥した強い西風が吹くが、全体的には恵まれた自然条件となっている。

(3) 人口と世帯

23,786人/9,176世帯(R6.2.1)



2 財政再建

(1) 境町の政策

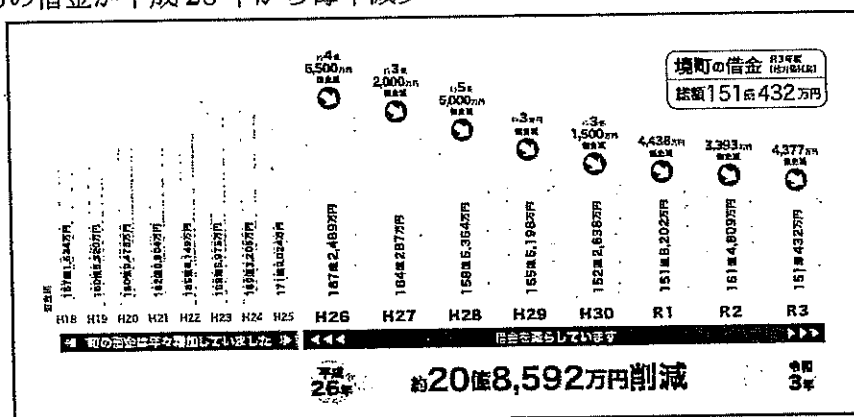
① 財政改善・資金確保

普通は財政を改善するためには… 補助金のカット？ 職員の給与削減？

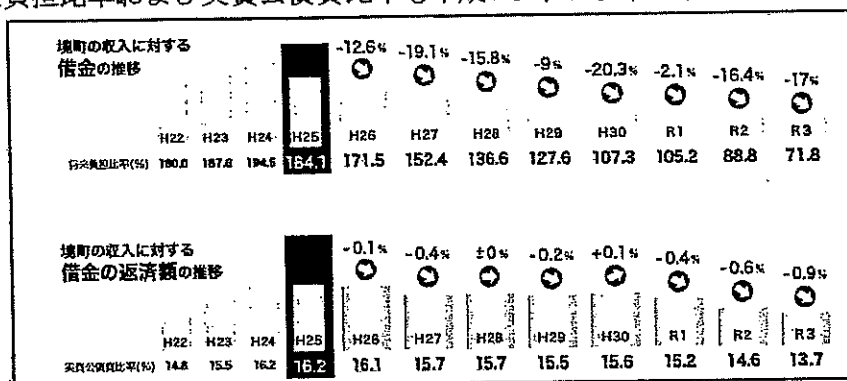
境町は収入を増やす施策へ（外貨を稼ぐ）

(2) 境町の財政

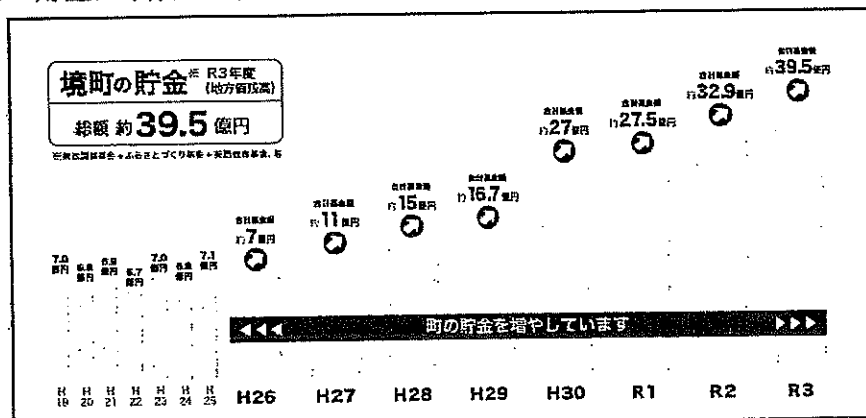
① まちの借金が平成 26 年から毎年減少



② 将来負担比率および実質公債費比率も平成 26 年から年々減少



③ まちの貯金は平成 26 年から毎年増加



(3) ふるさと納税の状況

年	寄附件数	寄附金額
H20年	2件	8万円
H21年	1件	5,000円
H22年	6件	7万5,000円
H23年	4件	5万5,000円
H24年	4件	2万1,000円
H25年	7件	6万5,000円
H26年	2,171件	3,257万円
H27年	58,234件	8億8,496万円
H28年	76,748件	16億1,670万円
H29年	127,257件	22億8,193万円
H30年	162,100件	59億5,448万円
R元年	182,807件	30億8,876万円
R2年	221,016件	39億53万円
R3年	290,234件	48億5,211万円
R4年	370,857件	59億5,348万円

**H26年を境に
急伸長!!**

(4) 全国視察訪問

まちづくりの原点は「成功モデルの視察」から

- ① ふるさと納税で成果をあげていた岐阜県各務原市の町長はじめ町議会議員全員で視察に出向き、そのシステムを学んできた。

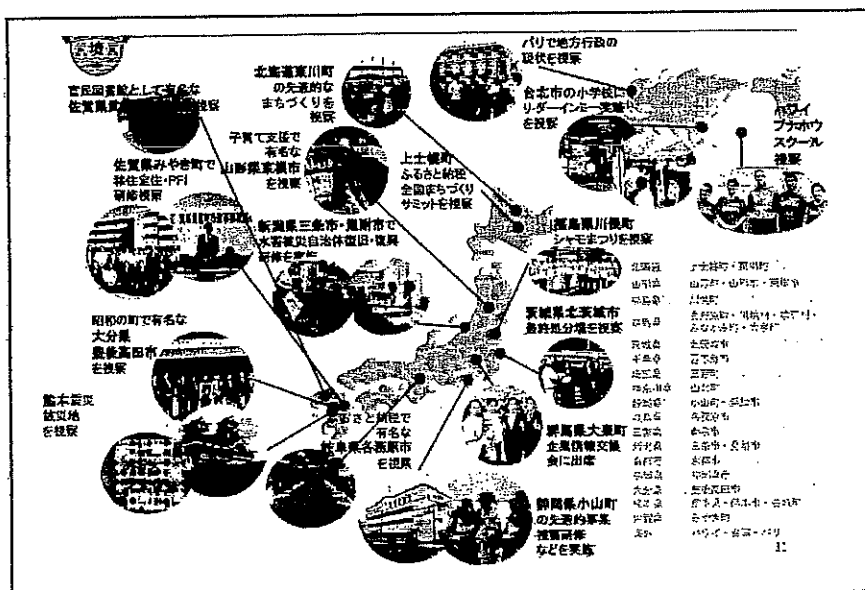
⇒ 議員が全員で研修することで町の問題点とこれからやるべきことの共通認識ができた

※ まちづくりで成功している自治体や地域をみんなで視察して、そのやり方を真似ることからスタートすることで成功率が高まる

全員で行くということがミソで現在の境町のまちづくりの原点がここにある



- ② 町を良くするため各地を徹底的に視察



3 ㈱さかいまちづくり公社

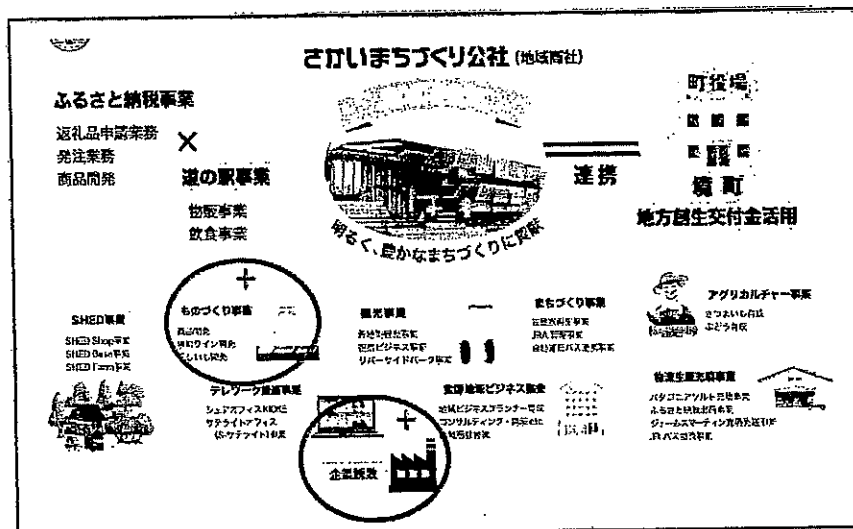
地方創生の切り札に外貨を稼ぐ地域商社

ふるさと納税をフル活用した一自治体一地域商社を目指して

(1) 会社概要

- ① 設立日 : 平成 28 年 9 月 1 日
- ② 資本金 : 50 万円 (境町 50% 道の駅さかい共栄会 50%)
- ③ 売上高 : 第 4 期 612,297,937 円 (令和元年 9 月～令和 2 年 8 月)
 第 5 期 839,461,527 円 (令和 2 年 9 月～令和 3 年 8 月)
 第 6 期 1,410,350,935 円 (令和 3 年 9 月～令和 4 年 8 月)
 第 7 期 2,130,761,543 円 (令和 4 年 9 月～令和 5 年 8 月)
 第 8 期目標 3,630,000,000 円 (令和 5 年 9 月～令和 6 年 8 月)
- ④ 人員体制 : 取締役 2 名 従業員 172 名 <2023 年 11 月 1 日現在>
 (正社員 41 名 パート・アルバイト 131 名)

(2) 稼ぐビジネスモデル

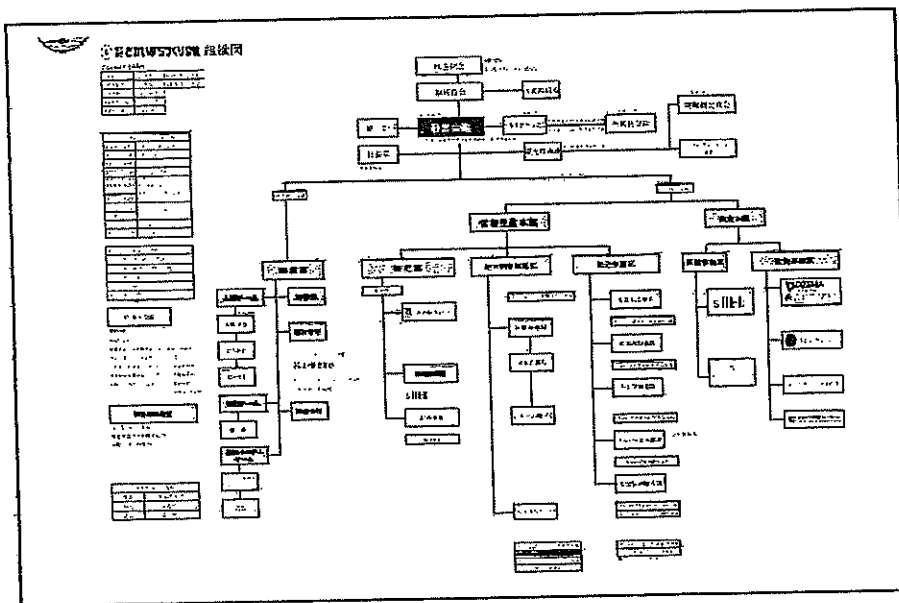


(3) 事業展開

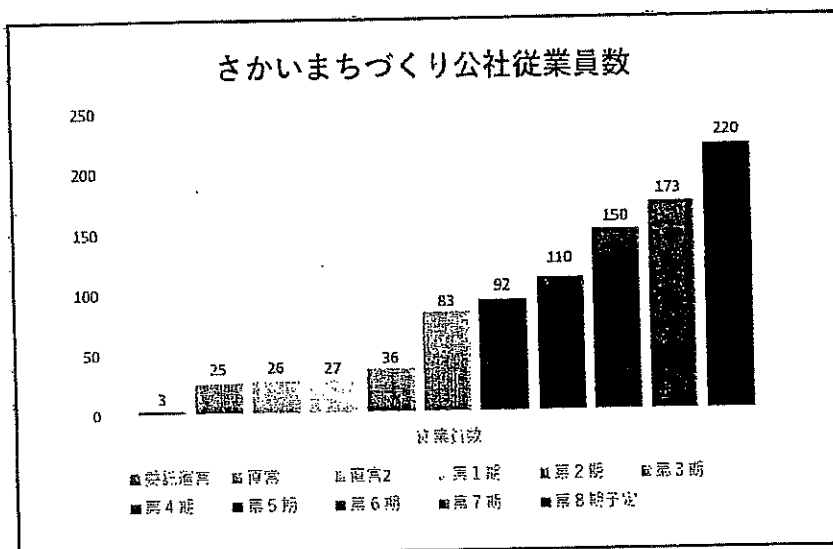
実施事業 : 観光物販飲食事業及びまちづくりに関する事業

- ◇ 交流拠点運営 <道の駅さかい (指定管理)・さつまいも圃場 1h など>
- ◇ 地域プロデュース・食農支援事業 <商品・サービス開発支援など>
- ◇ 飲食事業 <ウルフギャング・ピザーラ・さかいサンド・さかい河岸ベカリーなど>
- ◇ 地域商社事業 <ふるさと納税制度の委託・直営店舗や地域アンテナショップの経営など>
- ◇ ものづくり事業 <さかいまち醸造 Wine・干し芋・冷凍焼きいも・うなぎ加工など>
- ◇ 起業診断・コンサルティング事業 <創業支援・企業誘致・ふるさと納税制度のコンサルなど>
- ◇ 着地型旅行・ツーリズム事業 <さかいまちツアーズ・視察ビジネスツアー・企画旅行など>
- ◇ 古民家再生事業 <河岸の駅さかい (旧和菓子屋をリノベーション) など>

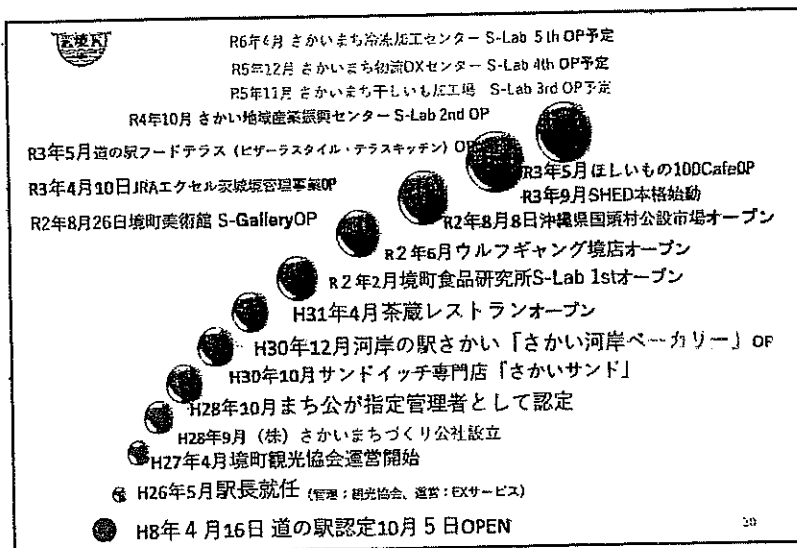
(4) 組織図



(5) 雇用数



(6) 沿革

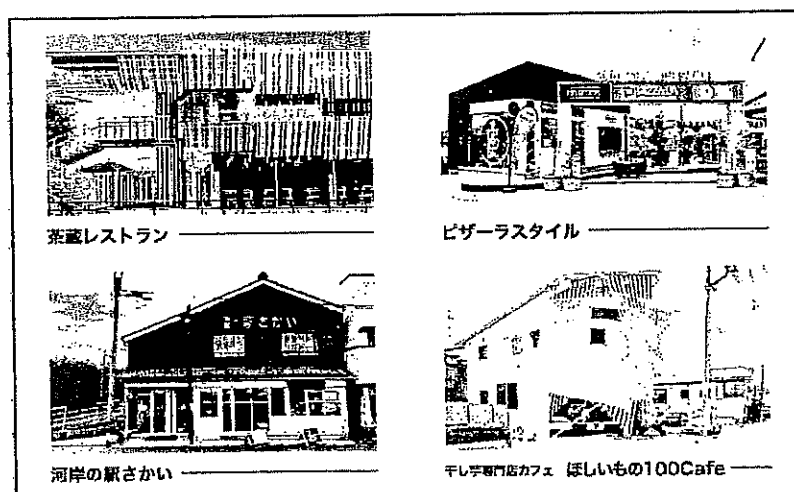


4 外貨を稼ぐ各施設の建設

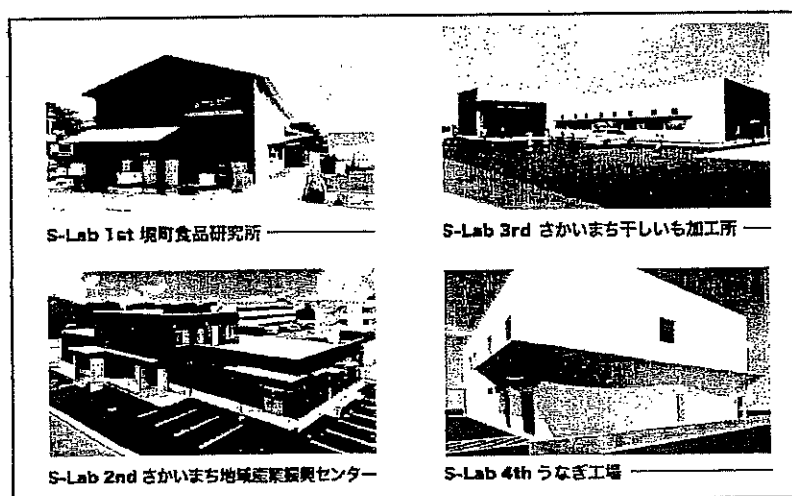
(1) 道の駅さかい



(2) 飲食店



(3) 各施設



5 稼ぐ戦略としてふるさと納税に着目

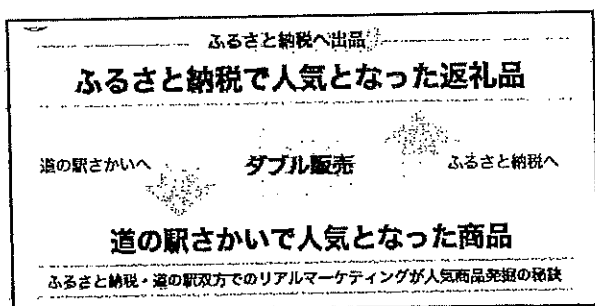
箱物行政と思われがちだが…

一般財源を使わずに ふるさと納税×地方創生交付金を利用



だから効率よく、まちづくりができる

(1) ダブル販売



(2) ふるさと納税県内7年連続第1位

平成27年～令和3年 茨城県TOP5						
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
1 境町山 894,972円 (64,447)	1 境町山 1,062,572円 (71,297)	1 境町山 1,186,241円 (72,469)	1 境町山 1,062,572円 (71,297)	1 境町山 1,062,572円 (71,297)	1 境町山 1,062,572円 (71,297)	1 境町山 1,062,572円 (71,297)
2 日立市 881,400円 (6,141)	2 日立市 1,062,572円 (71,297)	2 日立市 1,186,241円 (72,469)	2 守谷市 1,062,572円 (71,297)	2 日立市 1,062,572円 (71,297)	2 日立市 1,062,572円 (71,297)	2 守谷市 1,062,572円 (71,297)
3 石岡市 788,117円 (27,794)	3 守谷市 1,062,572円 (71,297)	3 守谷市 1,186,241円 (72,469)	3 日立市 1,062,572円 (71,297)	3 守谷市 1,062,572円 (71,297)	3 守谷市 1,062,572円 (71,297)	3 日立市 1,062,572円 (71,297)
4 土浦市 788,117円 (27,794)	4 古河市 1,062,572円 (71,297)	4 龍野市 1,186,241円 (72,469)	4 つばみらい市 1,062,572円 (71,297)	4 龍野市 1,062,572円 (71,297)	4 龍野市 1,062,572円 (71,297)	4 つばみらい市 1,062,572円 (71,297)
5 大田町 788,117円 (27,794)	5 土浦市 1,062,572円 (71,297)	5 古河市 1,186,241円 (72,469)	5 龍野市 1,062,572円 (71,297)	5 土浦市 1,062,572円 (71,297)	5 土浦市 1,062,572円 (71,297)	5 取手市 1,062,572円 (71,297)



その結果

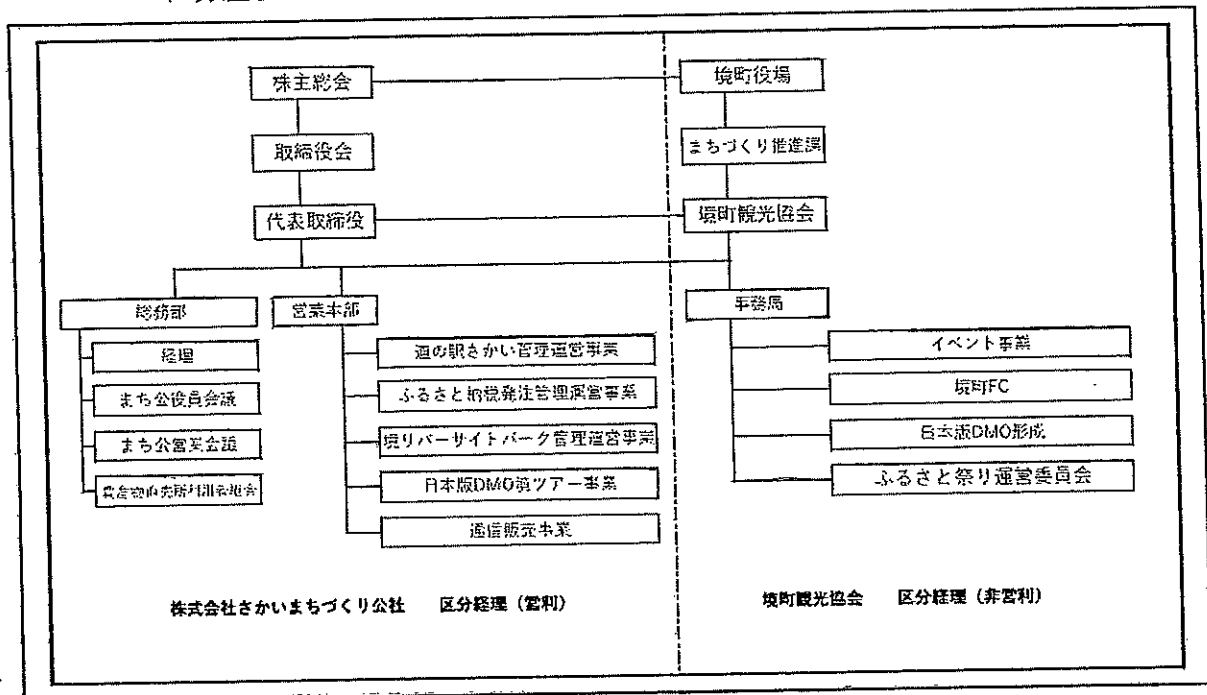
財政が大幅に改善

(3) 道の駅運営会社

期 間	指定管理者	運営者
平成 8 年 10 月 ～ 平成 27 年 3 月	境町観光協会	㈱EX サービス
平成 27 年 4 月 ～ 平成 28 年 9 月	境町観光協会	観光協会直営
平成 28 年 10 月 ～	㈱さかいまちづくり公社	

(4) 関連図

区分経理のために営利目的会社と非営利団体に分けた



(5) 資本比率

「自治体 50% : 民間 50%」 出資のまちづくり会社を設立

＜まちづくり会社を設立するに当たって官民で相互確認＞

- ① まちづくり公社設立の資本金出資率は「自治体 50% : 民間 50%」とする
- ② ふるさと納税事業を核となるリーディングビジネスとして推進していく
- ③ 小さく積み上げ、経営の成長と共に投資規模を拡大（まちづくり）していく

(6) 資本金

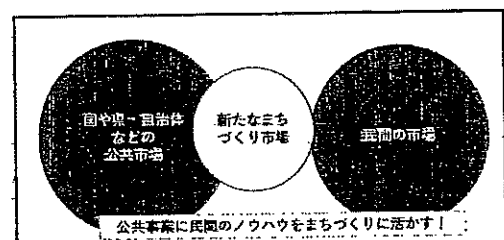
	資本金	発行株数割合	
堺さかいまちづくり公社	50 万円	道の駅さかい共栄会	25 万円 (50%)
		境 町	25 万円 (50%)

(7) 地域商社が行うソーシャルビジネス

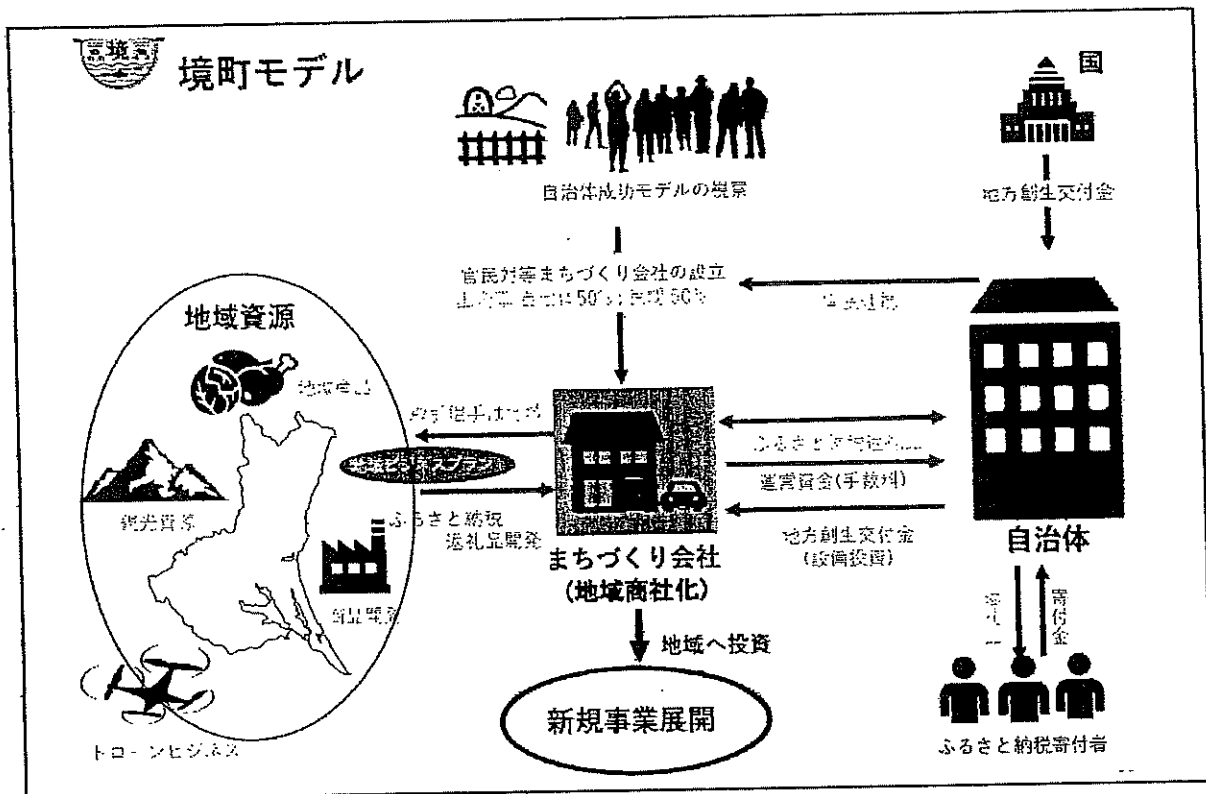
公共性と事業性を両立させながら様々な社会問題をビジネスの視点から解決していくこと

【境町モデル】

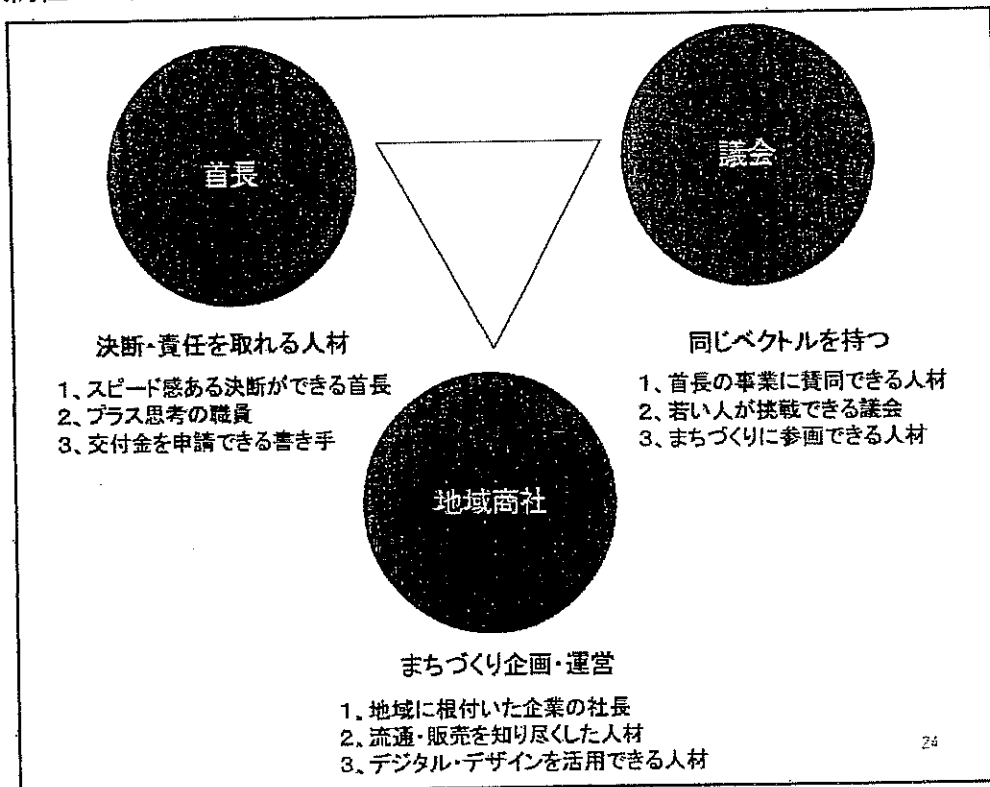
- ① 自治体がものづくり加工場などの設備投資
- ② 境町の投資分を回収
- ③ 企画運営は地域商社
- ④ ふるさと納税制度を軸にビジネスモデルを開発
- ⑤ 境町・地域商社が境町に再投資



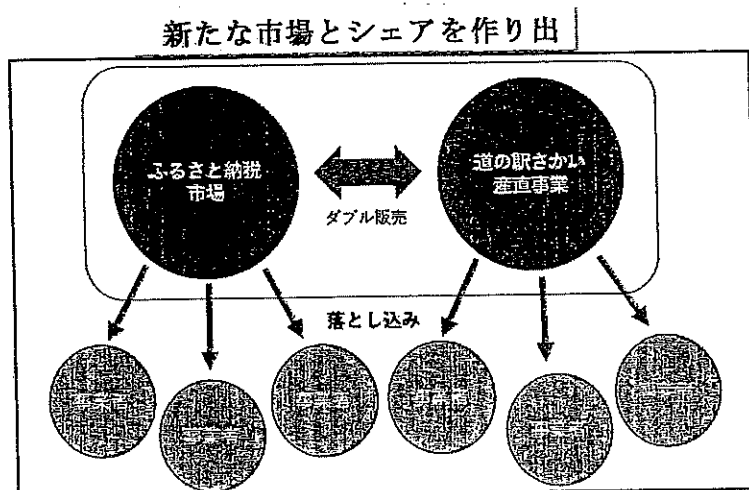
(8) 地域ビジネス促進によるまちづくりのスキーム



(9) 地域商社のプレイヤー



(10) 地域商社との関係性



6 6分野のエキスパート

(1) 6人の専門知識を持った地域ビジネスプランナーの育成が「まちづくりのカギ」を握る

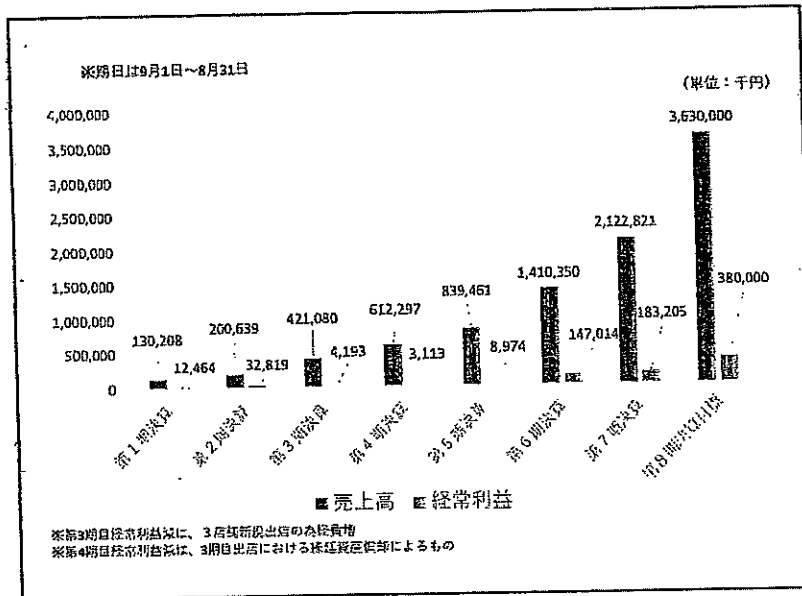
⇒ 専門的キャリアを持ったエキスパート人材の存在がビジネスモデル構築に成功に

- ① 資金づくりエキスパート <ふるさと納税寄附金・補助金(地方創生交付金等)>
- ② 商品づくりエキスパート <商品開発・飲食開発・ふるさと納税返礼品>
- ③ 企画づくりエキスパート <集客企画(仕掛け)・店舗運営・観光・ドローン>
- ④ 店舗づくりエキスパート <地域活性化拠点(道の駅・直売所等)・ふるさと納税>
- ⑤ 情報づくりエキスパート <情報発信・SNS>
- ⑥ 人材づくりエキスパート <人材育成・商品知識・野菜ソムリエ等・専門資格取得>

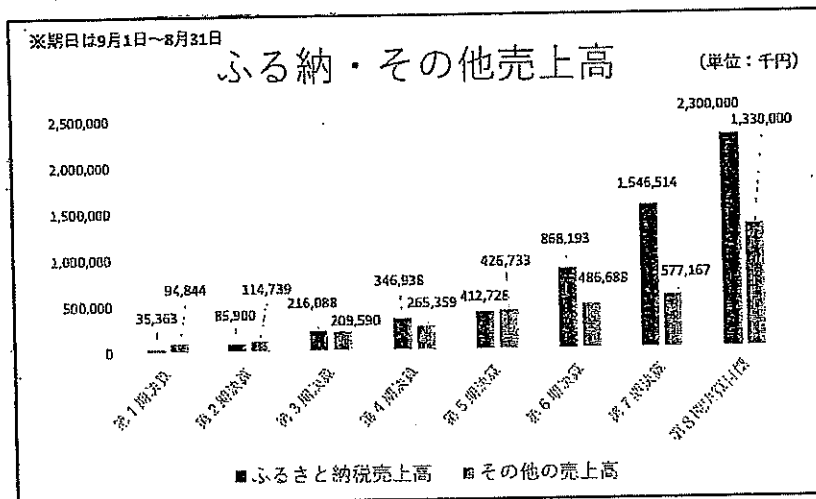
販売のプロ	流通のプロ	料理のプロ
野口富太郎 (株)さかい まちづくり公社 代表取締役 (道の駅さかい駅長) 	高橋俊一 (株)さかい まちづくり公社 営業本部長 	上野康弘 (株)さかい まちづくり公社 飲食事業部部長 
道の駅さかい駅長でありながら、さしまるなどの縁を扱う野口富太郎商店の代表としての顔も持ちマルチに活躍中。駅長に就任した6年前から道の駅の売上高は大幅に上昇した。その手腕はふるさと納税にも存分に活かされている	2007年カリフォルニア州で納豆製造販売会社を設立。米国における納豆普及に貢献。現在はその手腕と行動力を、道の駅さかきの店長として発揮。ふるさと納税の返礼品選定や企画立案などにも携わっている	アメリカで約35年という長きに渡って料理人として活躍し、豊富な実績と経験を持つ。その経歴は日本という枠を取り払い、料理に対する姿勢はとてグローバル。日本人らしからぬ発想力と熟練の技術で、調理部門を牽引している
メニュー開発のプロ	商品開発のプロ	人材育成のプロ
生井浩司 (有)スズラン・ロードハウス 代表取締役 	山下隆徳 (株)アルコパレーノ 代表取締役 	水井澄人 株式会社 ラフィネット 総合企画 代表取締役 
父親が経営するレストランで料理を学んだ後、200名収容できる居酒屋をオープン。同店で得たノウハウを活かし、国内のみならず海外でもコンサルティング業務も行い功績を残している。当駅においては軽食部門の売上増に寄与	有名フレンチ及びレストランに従事した後、渡仏。帰国後レストランはもちろんなホテル等の運営に携わりつつ、様々な企業の商品開発なども行っている。現在は道の駅のアドバイザーとしての顔も持ち、復興に大きく貢献	26年間の百貨店歴を活かし、各市町村の商工団体、公共団体ならびに企業へ向けて、現場視点から見た経営上の課題を中心に、OJT及びOffJTによる研修講師活動を展開中。町における具体的な活性化策などのアドバイス及び指導も行っている

7 業績状況

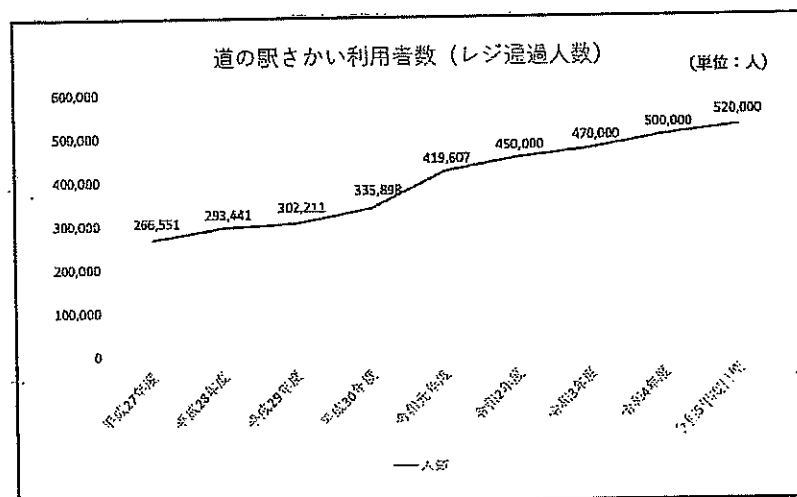
(1) 決算期別 売上高と経常利益



(2) 決算期別 売上高比較

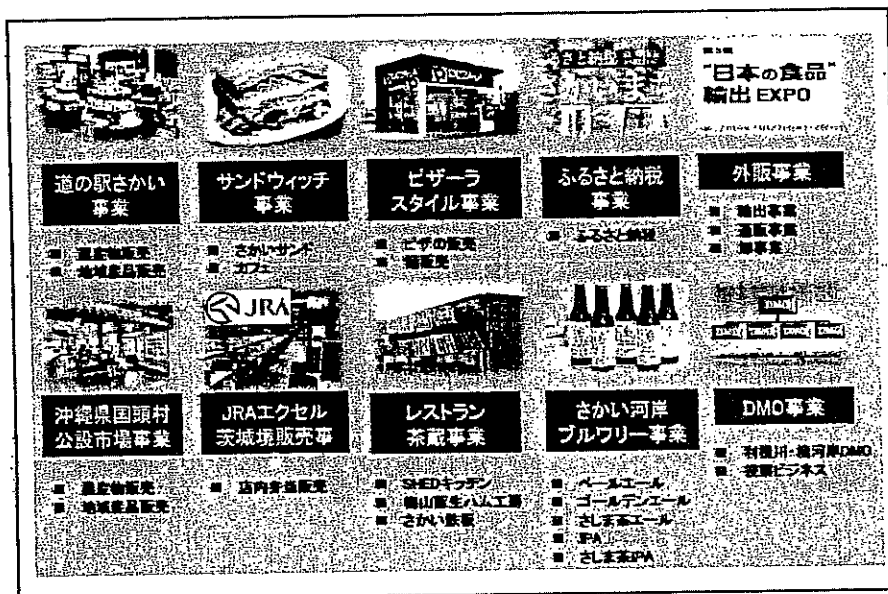


(3) 道の駅さかい 利用者数



8 事業内容

(1) 道の駅さかいエリア



① 道の駅さかい事業

◇ 売り場改革（軽食コーナー）

- ・ 地産地消をうたったメニュー開発
- ・ 喫茶コーナーの設置
- ・ 食事コーナーから「さかいの台所」と名称変更

◇ 軽食コーナー人材教育

- ・ 食のコンサルによる講習
- ・ 冷凍真空技術を採用
- ・ 提供時間の短縮化



② 沖縄物産館事業

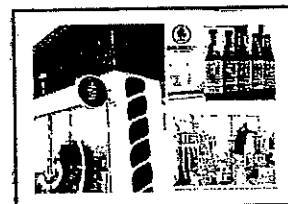
◇ 沖縄県国頭村公設市場

- ・ 国頭村アンテナショップ

③ 地ビール工房事業

◇ さかい河岸ブルワリー

- ・ 2018年6月オープン of マイクロブルワリー
- ・ 地元企業の安井商店がオープン
- ・ さしま茶ビールなど5種類を生産



④ サンドイッチ専門店「さかいサンド」事業 2018年9月オープン

◇ PPPA（徹底的にパクってパクリ倒してアレンジする）

- ・ 千葉県野田市「コウジ サンドウィッチ スズムラ」を参考
- ・ 地元産小麦「ゆめかおり」使用
- ・ 新鮮な野菜などふんだんに詰め込んだサンド
- ・ 季節限定品から定番品まで常時 20 種類



⑤ ウルフギャングとライセンス契約 **2020年3月オープン**

◇ ハワイのウルフギャング（日本法人 WDI）とふるさと納税連携

- ・ 10万円の寄付で4万円の食事券とお茶セット出品
⇒ 寄付額：1,000万円以上/月

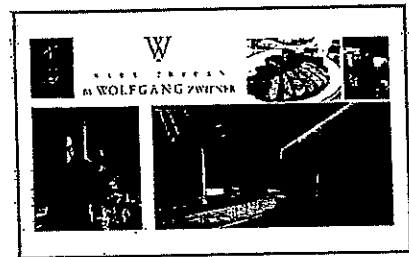
◇ 常陸牛のさかい鉄板オープン

- ・ サンフランシスコからシェフ・パティシエを招聘

◇ さかい鉄板をウルフギャングへ

- ・ オーナーから直接、店舗の出店依頼
⇒ 寄付額：1億円以上/年

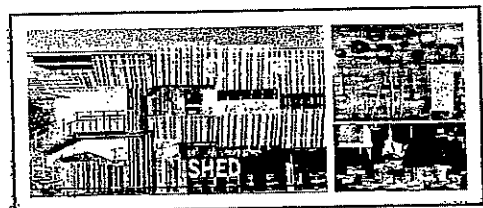
◇ さかい鉄板をモデルにウルフギャングの鉄板焼き銀座店オープン



⑥ 食のセレクトショップ **2021年7月オープン**

◇ 新しい食の発信基地サンフランシスコ発 SHID

- ・ オーガニック農業を中心とした発酵食品や地元食材の調理
- ・ 食する楽しみ、情報共有できる場の提供
- ・ エコロジカルなライフスタイル
- ・ ※サーキュラーミーエコノミー（循環型経済）の実現



↳ ※ 廃棄物を出さずことなく資源を循環させる経済の仕組み

⑦ フードコート事業 **2021年7月オープン**

◇ ピザラスタイル テイクアウト事業

- ・ 人口2万人代、および道の駅へのピザラ全国初出店
- ・ 地元食材を使ったピザや飲み物などオリジナル商品

(2) さかい河岸エリア



① 空き家店舗再生モデル事業

◇ 空き家対策事業

- ・ 和菓子屋大久をリノベーション

◇ 1階パン工場、2階シェアオフィス

◇ 家賃収入最大化

- ・ シェアオフィス 20社と契約 15,000円/月 ⇒ 30万円/月

◇ 道の駅さかいやふるさと納税へ出荷



(3) 逆6次産業化

干し芋産業化プロジェクト

2020年1月オープン

- ◎ 茨城県の代表的な特産であり原価が上がり続ける唯一の商品である干し芋に着目し、しっかりと濃厚な希少価値の高い紅はるかの生産を開始

① 全体のスキーム

- ◇ S-Labの建設には国の補助金と町のふるさと納税基金を活用



寄付が入ってくるため町の持ち出しは回収できる

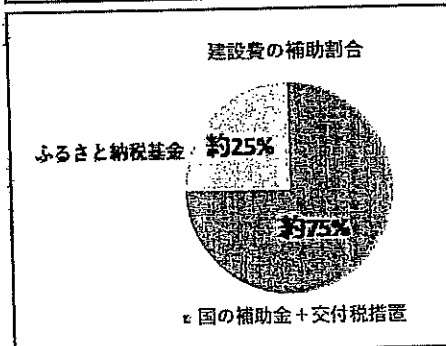


町の負担0で以下のことを実現

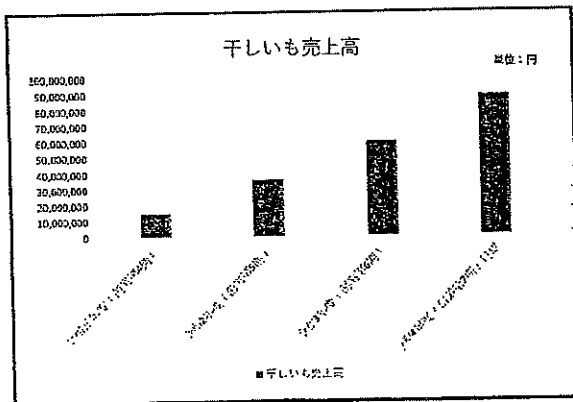
- ・ 新たな産業化
- ・ 新規雇用開拓
- ・ 境町の税收確保

総工費：200,000,000円

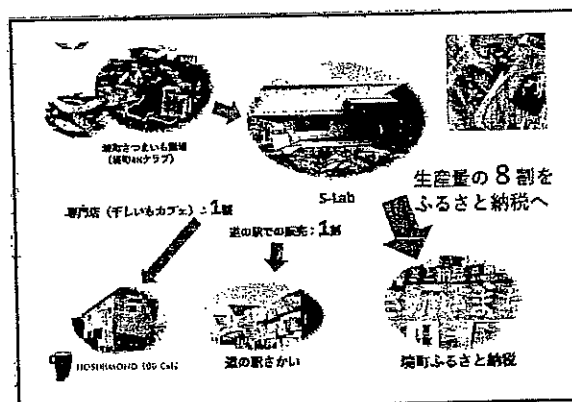
境町負担：約50,000,000円



② 干しいも事業の売上高推移



③ 製品の流れ (境町耕作放棄地を利用)



④ 寄附実績

納税額 10,000円

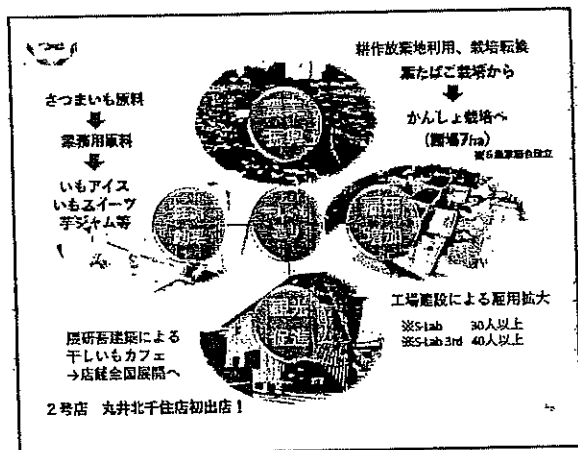


	件数	金額	境町への手残り
令和元年度	1,325件	13,250千円	約 6,500,000円
令和2年度	9,299件	110,929千円	約 55,000,000円
令和3年度	13,446件	148,828千円	約 74,000,000円
令和4年度	18,698件	233,813千円	約 115,000,000円

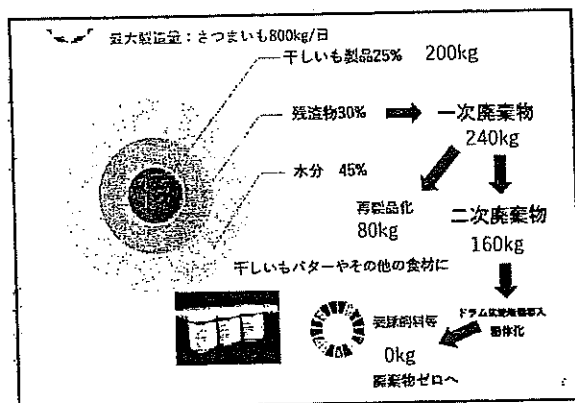


住民のまちづくりへ更なる投資ができる

⑤ 新たな産業化



⑥ 干しいも製品率と廃棄物

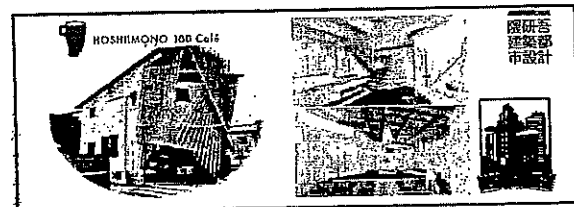


(4) 販路開拓拠点 S-ブランド事業

干しいも専門店カフェ

『ほしいもの 100cafe』 2021年5月オープン

株式会社ほしいもの百貨



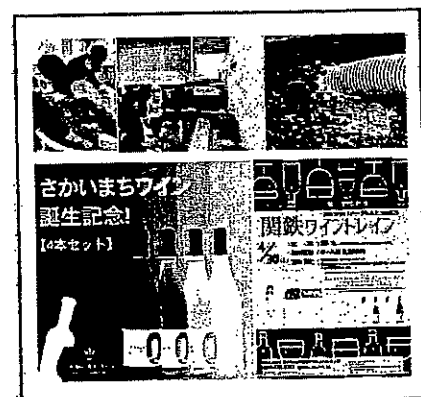
さかいの干しいもを世界へ

- ① ほしいもの百貨の店舗展開を目指す！
- ② 干し芋の世界輸出を目指す！
- ③ 干し芋の様々な食べ方を提案

(5) さかいまち食品研究所 S-Lob

『さかいまちワインプロジェクト』 2020年1月オープン

- ・ 日常消費ワインとしての地元ワイン
- ・ 肩肘張らずに愉しめるワイン
- ・ ワインを通して境町を広く知ってもらうことに寄与したい
- ・ 造り手、売り手、買い手、呑み手の全てに境町ワインを理解してもらうことを理想



(6) さかい地域産業振興センター S-Lob 2nd

『OME / ODM 受託工場』 2020年10月オープン

- ① JM アルコール充填
- ② 食品加工
- ③ コスメティック

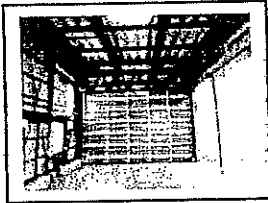


(7) S-Lob 3rd 境町ブランド研究開発拠点施設事業

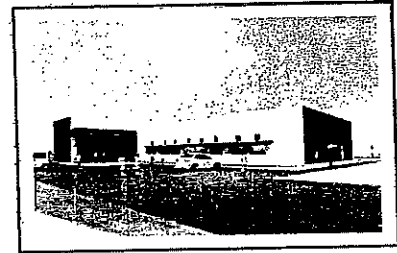
『干しいも第2製造工場+保管庫』 2023年11月オープン

- 第1製造工場と合わせて1日生芋305t加工
⇒ 1シーズンで75.2tの干し芋を製造

※ 糖化庫



原料いもは収穫後すぐは加工せず
糖化庫で10日～2週間熟成・糖化
させることで甘くてしっとりとした
芋になり、格段においしい干し芋に仕上がる



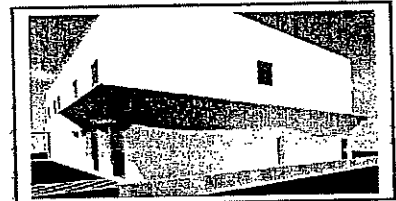
(8) S-Lob 4th 境町産業振興研究拠点施設事業

『物流拠点一体型センター開発&さかい河岸鰻復活プロジェクト』 2023年12月オープン

さかい河岸鰻復活プロジェクト



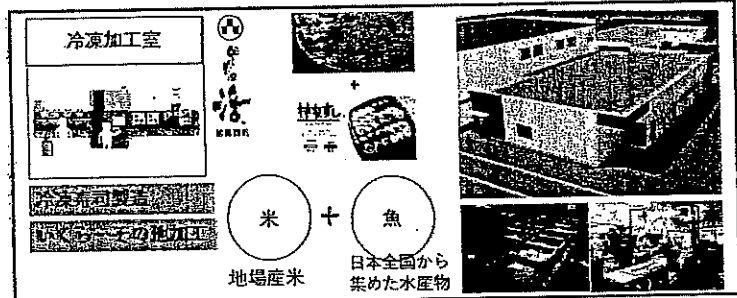
かつて利根川中流域は坂東うなぎ
でも有名な産地であり、うなぎの
加工物流業に参入し、うなぎの文
化を復活することを目指し始動



(9) 境町アグリビジネスラボ拠点施設事業 2024年3月オープン

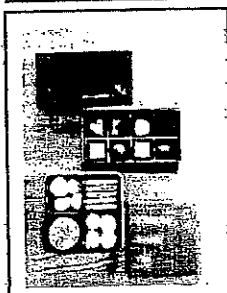


- 鮮魚加工
- 冷凍寿司加工
- ピザーラ冷凍スープ委託製造
- クア・アイナ冷凍スープ委託製造



(10) 地場産品を使ったジェラート（大塚陽介監修）の製造

大塚陽介（パティシエ）



数々のコンクールで受賞経験を持つ
現在はカクテルスイーツユニット
PLAYGROUNDでカクテルと
スイーツの新しい可能性を発信
⇒ ジェラート・ボンボンショコラ
ティラミス等



2021 ミラノ FIPGC 世界大会パステイジャージュ部門 1 位

(11) 小型・分散型 閉鎖循環式陸上養殖システム

『次世代型養殖技術の閉鎖循環式陸上システムユニット ARK でのバナメイエビ養殖』

＜海を休ませるために、陸上に小さな海をつくる＞

- ・ ARK (アーク) は「養殖の民主化」をミッションとして「どこでも誰でも水産養殖ができる仕組み」を提供するため CRAS と呼ばれる閉鎖循環式陸上養殖システム ARK の開発、販売を行っている
- ・ 小規模な投資と運用で分散型の水産養殖を始められる
- ・ 再生可能エネルギーを活用することでオフグリッドでの稼働が可能
- ・ エネルギーコストと環境負荷を大幅に削減
- ・ ハードウェアに加えリモート管理アプリケーション、資材や種苗の提供サービスも行う予定



＜バナナエビの特徴＞

- 成長速度が速い (70 日で 25g、90 日で 50g)
- エサ利用率が高い (1.2kg のエサが、1kg のエビになる)
- 肉は甘味が豊富、柔らかい
- 高密度養殖が可能

※ 日本は消費量と養殖量が世界で一番多く、日本でも人気の食材として多く輸入している

9 自動運転バス定期運行による視察研修事業

第1弾 モデルコースによる実証実験

第2弾 JR バスとの連携

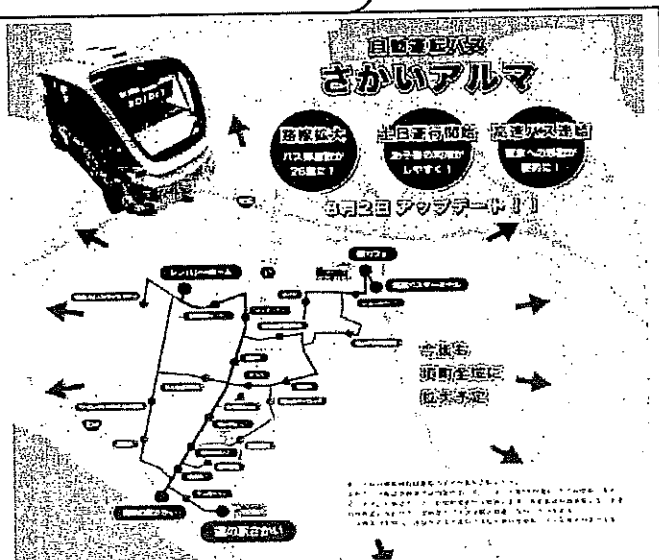
第3弾 定期運行の拡大及びレベル4へ移行



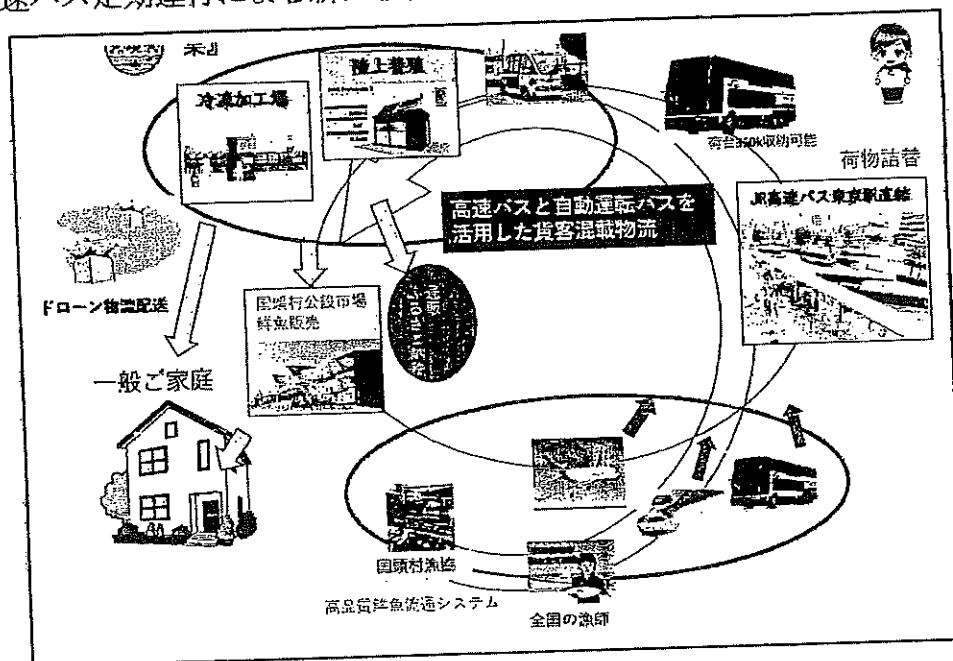
フランスのNavya社が開発した「NAVYA ARMA」



エストニア共和国の「Auve Tech (オーブテック)」が開発した「ミカ」



10 高速バス定期運行による新たな物流販売網事業



11 全国各地の地域課題

(1) 年間 200 件以上の視察が来るようになったら、全国各地の「地域課題」が浮き彫りに…

① ふるさと納税の事務を丸投げ

地域の商品は地域の力で販売する
手数料をいくらかでも地域へ再投資

② ふるさと納税に出品する地域産品がない

商品開発ができない
原料はあるが加工する施設がない

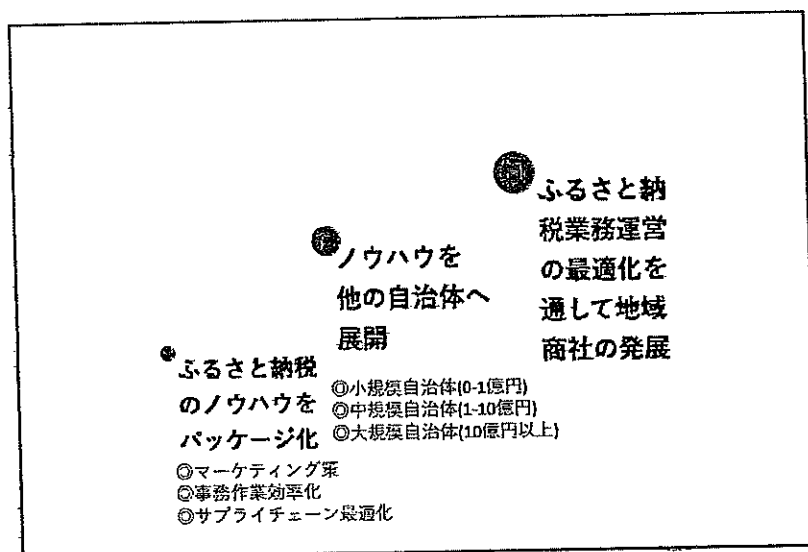
③ 流通販売を知り尽くした人材がいない

人材不足で運営できない
地域にキーマンがいない

(2) ふるさと納税制度による課題解決策の提供

令和3年度（寄付額）		約10%	
10億	約50%		
		中規模自治体 (1億～10億)	大規模自治体 (10億以上)
	約40%		
1億	小規模自治体（0～1億）		
解決策	マーケティング策	事務作業自動化	事務作業自動化/サブ ライチェーン最適化
課題	寄付金を集めるための商品戦略や価格戦略。プロモーション戦略等が整備されていない。	寄付金を集められているが、それに係る煩雑な作業により収益が上がりきらない。	寄付金も集まり体系的な対応がある程度出来ているが、タイムリーな在庫分け等の潜在的な売り逃しが発生している。

(3) ふるさと納税制度による課題解決策の横展開



(4) ふるさと納税制度による課題解決策のパッケージ

マーケティング策のパッケージ

- ① 製品戦略 ② プロモーション戦略 ③ 価格戦略 ④ チャネル戦略

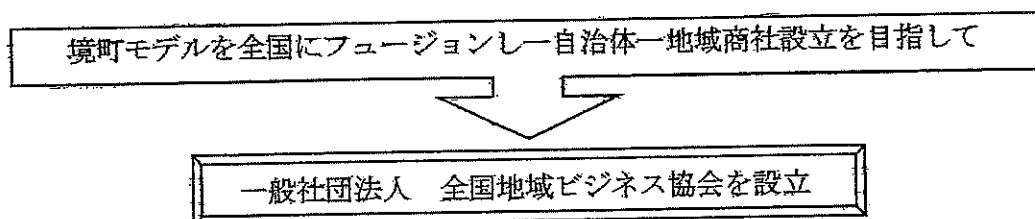
事務作業自動化のパッケージ

- ① レジホーム等の管理サイトからのデータ取得
② 連携や登録等の事務作業を自動化し各自治体ごとに適用できる仕組み

サプライチェーンのパッケージ

在庫振り分け RPA を他の自治体でも活用できるように改修し機会損失の低減に繋げる

12 『全国地域ビジネス協会』を立ち上げ 2023年4月



＜地域の現場で地域の活性化をできる人材を育成する＞

「地域の最前線現場：道の駅 ⇄ 具体的な財源策の在り方としてのふるさと納税関連ノウハウ」
として車の両輪のように学びを積み上げて、具体的な現場ノウハウと財務的ビジョンを兼ね備えた変革へのエンジンたる人材を育成

● 当協会の理念

“稼ぐ力を持つ地域商社”をつくりそれをつなげることで日本の地域を変えていく

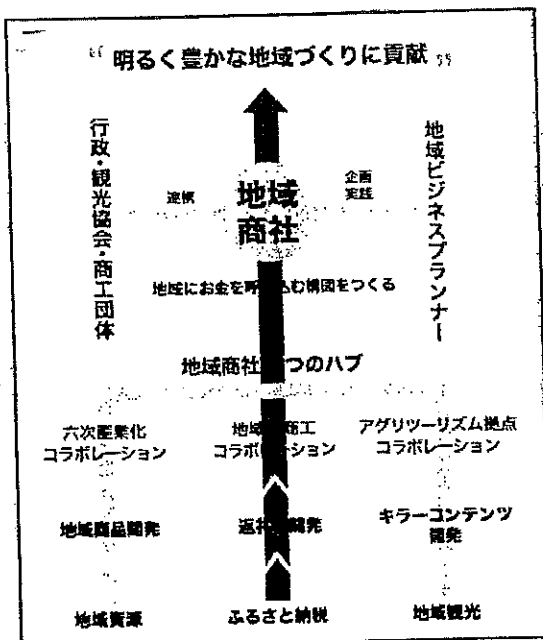
● 活動方針

地域商社として「地域観光などの資源をつかって人を呼び込む」
「地域外の消費者や企業へ物品やサービスなどを販売する」等により地域にお金を呼ぶ
込むことを目的に、日本の地域を変えていくためのエキスパート人材として「地域ビ
ジネスプランナー」の育成拡大を展開

● 地域ビジネスプランナー

全国各地の市町村地域において「地域商社の立ち上げから運営までのアドバイス」を
行う専門家資格

(1) 全国各地域の理想図



今こそ「ふるさと納税を利用」して
日本を変えていく

今や「低所得・低物価・低金利・低成長」の
「4低」は、もはや「普通」になりつつある
「失われた30年」と言われるように
現在の日本の国力は凋落の一途を辿っている

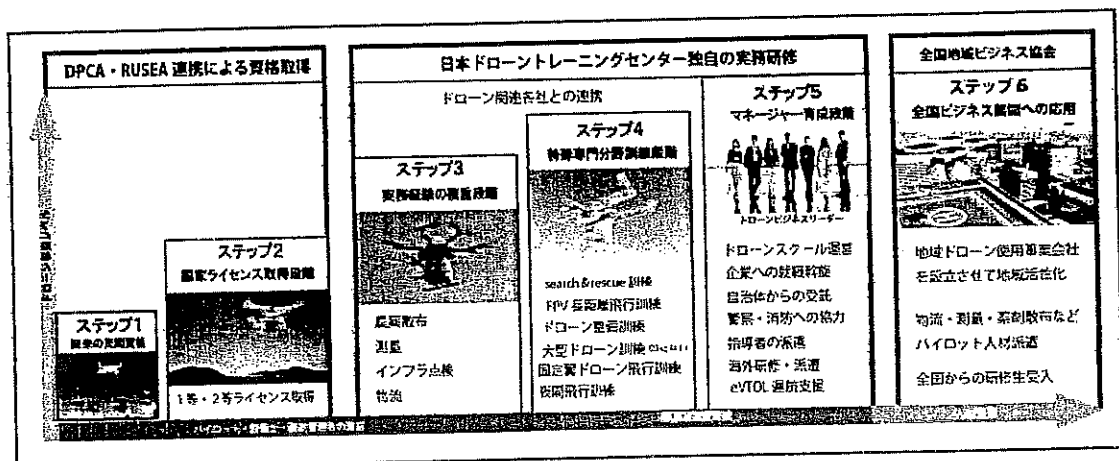


だからこそ「ふるさと納税制度」を利用して
「地方」から、「地域」から
日本を変えていくことが急務

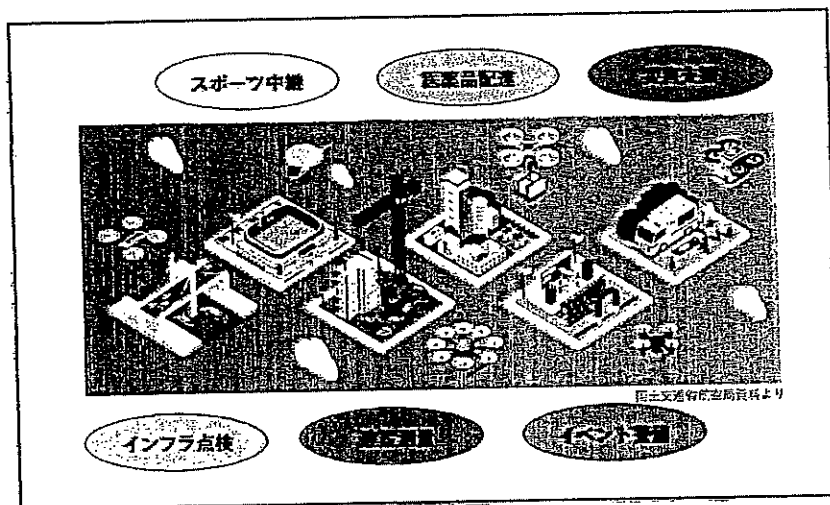
(2) ドローンスクール事業

2023年4月開講

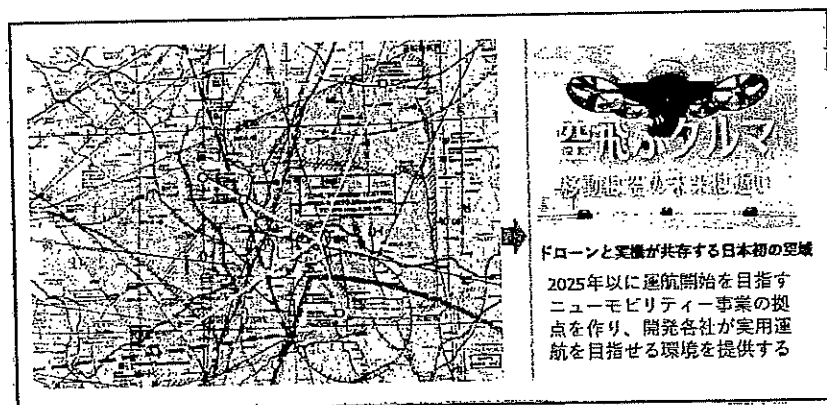
<日本最大級のドローン人材育成拠点> 日本ドローントレーニングセンター



(3) レベル4時代にはこうしたビジネスを担う人材が必要



(4) 境町を将来次世代ニューモビリティのテストフィールドに
 < Civil training Testing area を活用し境町周辺の滑空場を結ぶ実験ルートで空の街境に >
 ～ 境町をドローンのシリコンバレー化へ ～

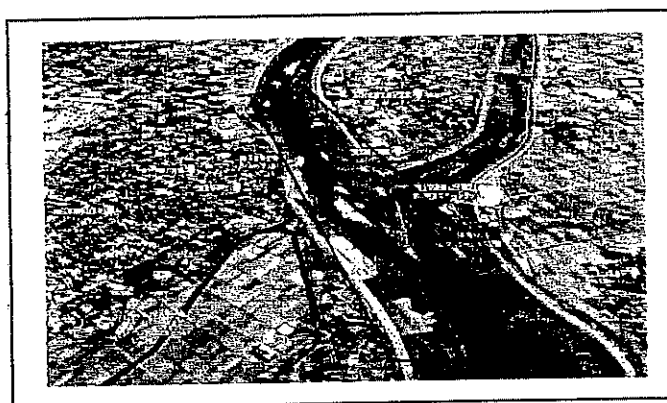


(5) 利根川リバーサイドベース

< 【河川】東京に一番近い無人航空機テストフィールドとして利用 >

○ 河川上空を大型マルチコプターと固定翼ドローンの開発及び飛行訓練に活用

ドローン開発は垂直離発着型の固定翼機へ移行が始まり
 開発会社はテスト飛行を行う広い場所を求める



(6) 日本ドローントレーニングセンター 【境町文化村ベース】

＜最大の特徴は体育施設と飛行環境の両立＞

体育施設改修することなく平日空き時間を活用することで体育環境とドローンスクール環境を両立させ境町の活性化を図る



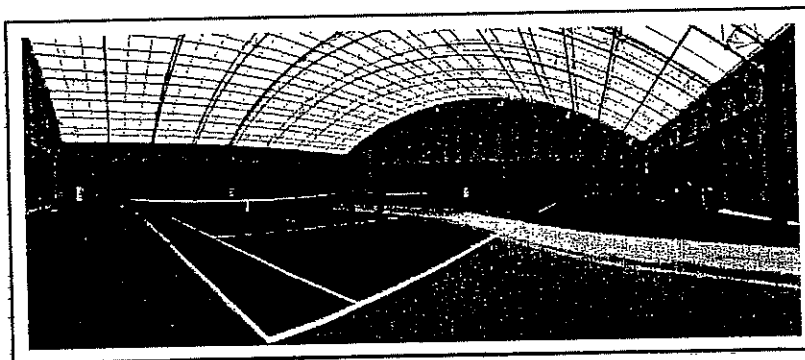
(7) SAKAI Tennis court 2020 屋内テニスコート利用

＜一等実地試験 及び二等実地試験の関東試験場＞

(月3日最大90名が関東から受けに来る)

◇ 国家資格試験会場：一般財団法人日本海事協会

(国土交通省より無人航空機操縦士試験機関として指定)



13 境町の原動力

ふるさと納税制度活用 × 地域おこし協力隊 × 道の駅ノウハウ
× 地方創生交付金活用 × 視察研修

14 地方商社運営のキーワード

① 出口戦略があるかないか

道の駅の売り場 + ふるさと納税の売り先

② 良い人材が確保できるか

地域おこし協力隊の活用やその道のプロをスカウトする

③ 長期ビジョンを持っているか

計画なくして実行なし。すぐに事業として成り立てるプランを持つ

④ 企画力と行動力

アイデアをすぐ企画して、すぐ実行できる能力を持つ

⑤ ビジネスモデルを生み出す

新たな収益構造を作り出す

15 調査所感

境町では、財政再建の切り札として「ふるさと納税制度」を最大限に活用し、全国の自治体でも当時（平成 25 年）は財政がひっ迫しているワースト上位に名を連ねるという厳しい状況からの脱却を図り、現在では年間 200 日に渡り様々な先進的な取り組みに視察が訪れるといった注目される自治体へと比較的短期間で変貌を遂げられていました。

きっかけは現町長が就任直後に、まちづくりで成功している自治体や地域をみんなで視察し真似ることからスタートしたということで、行政執行部のみならず、議員全員が視察に参加することで、町の問題点やこれから取り組むべき重要案件を共通認識できるように努めたことが、現在の境町のまちづくりの原点であり、みんなで視察に行くというのが大変重要であるとのことでありました。

そのような中、ふるさと納税の先進地であった岐阜県各務原市の視察を皮切りに、全国各地の成功モデルを視察訪問し、その事例を参考に PPPO（パクってパクってパクリまっくてオリジナルをつくる）といった、境町独自のスタイルに落とし込むという流れを徹底したことで、現在の成功に至っているということが、今回の視察で理解することが出来ました。

また、「一自治体一地域商社」といった考えの発案者として、行政のパートナーとして大きな役割を担っているのが、「関さかいまちづくり公社」の存在であります。

町の職員数が約 230 人という規模の中、公社の従業員数が現在約 180 名で、来期は総数 220 名を目標に採用を拡大する計画というから驚きであります。

事業内容も、ふるさと納税制度を軸に「ふるさと納税発注管理運営」、「道の駅さかい管理運営」、「境リバーサイドパーク管理運営」、「日本版 DMO 境ツアー」、「通信販売」と多岐にわたり、売上高も今期約 36 億円を目標に掲げているというスケールの大きさであります。

更には、販売・流通・料理・メニュー開発・商品開発・人材育成の 6 分野にそれぞれ専門知識を持った「地域ビジネスプランナー」と呼ばれる 6 名のエキスパート、いわゆるプロの存在が大きな力となっていることを教えて頂きました。

そのようなプロの支えの下、公社から民間事業所への商品開発の提供（逆 6 次産業）など、発想の転換を図りながら、あくまで最終着地点はふるさと納税の返礼品開発といった明確な戦略を掲げ、行政と公社が役割を認識、分担しながら好循環を生み出していることを学ぶことが出来ました。

また EV バスの通常運行やドローンによる配送実験を実施するなど新たなモビリティ社会の先進地としても脚光を浴びています。

常陸太田市においても、先進事例を参考にまず真似ることからスタートすることの大切さや、首長によるスピード感ある決断に加えプラス思考の職員（交付金を申請できる人材舎）、首長の事業に賛同できる議会、そしてまちづくりの企画運営を担う地域商社（開さかいまちづくり公社）が三位一体となって堂々たる成果へと結び繋げている背景について、参考になる点を多々感じ得ることのできた貴重な視察となりました。

今後も様々な取り組みを手掛けていく境町の動向に、注目していきたいと思います。